

# 令和4年度施策評価

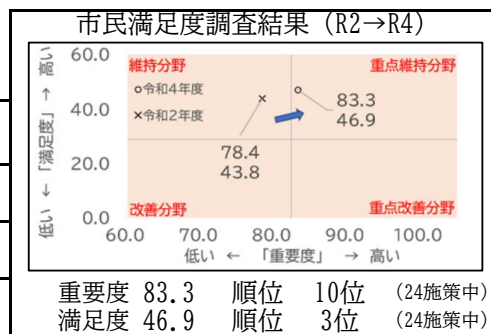
## 目次

1 快適空間都市の創造	
① 住みやすい都市空間づくり	1
② 人に優しい道路・交通体系づくり	3
③ 情報化社会に対応した基盤づくり	5
④ 安らぎのある住環境づくり	7
⑤ 潤いのある水環境づくり	9
⑥ 安全・安心に暮らせる災害に強いまちづくり	11
⑦ 循環型社会構築に向けた環境づくり	13
2 健康福祉都市の創造	
① 次代を担う子どもたちの育成支援	15
② 生涯にわたる健康づくり	17
③ 健やかで生きがいの持てる高齢者福祉の実践	19
④ 心の通った社会福祉の推進	21
3 生涯学習都市の創造	
① 学校教育環境の整備・充実	23
② 誰もが平等な社会づくり	25
③ 生涯にわたり学習できる環境づくり	27
④ 誰もが親しめるスポーツ・レクリエーションの	29
⑤ 個性豊かな文化の振興	31
4 産業振興都市の創造	
① 魅力ある農業の振興	33
② 持続的な林業・水産業の振興	35
③ 活力ある商業・工業の振興	37
④ 賑わいのある観光の振興	39
⑤ 食と食文化を生かしたまちづくり	41
5 参画協働推進都市の創造	
① 市民が主役のまちづくり	43
② 男女共同参画社会の実現	45
③ 効率的で透明性の高い行財政運営	47

# 令和4年度 施策評価シート

## 基本情報

基本目標	1 快適空間都市の創造
基本施策	① 住みやすい都市空間づくり
所管部	産業建設部
所管課・関係課	都市整備課



施策の目標 市民がまちなかに安心して暮らせる状態にします

現状と課題  
※第2次伊予市総合計画後期基本計画(令和3年3月策定)より転記  
 本市では、「伊予市文化交流センター」を中心拠点・文化交流拠点として整備し、回遊性の高い歩行者ネットワークの形成を進めています。しかしながら、中心市街地は、空き店舗・空地が増加し、都市の空洞化が進んでいます。また、商店街の道路は十分な歩行空間が確保できていないにも関わらず通過車両が多いのが現状です。社会実験を通じて道路のエリアマネジメントを改善し、歩行空間を確保する必要がありますが、地域住民との合意形成が課題となっています。

関連するSDGsのゴール

<input type="checkbox"/>	ゴール1 貧困をなくそう	<input type="checkbox"/>	ゴール10 人や国の不平等をなくそう
<input type="checkbox"/>	ゴール2 飢餓をゼロに	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール11 住み続けられるまちづくりを
<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール3 すべての人に健康と福祉を	<input type="checkbox"/>	ゴール12 つくる責任つかう責任
<input type="checkbox"/>	ゴール4 質の高い教育をみんなに	<input type="checkbox"/>	ゴール13 気候変動に具体的な対策を
<input type="checkbox"/>	ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	<input type="checkbox"/>	ゴール14 海の豊かさを守ろう
<input type="checkbox"/>	ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	<input type="checkbox"/>	ゴール15 陸の豊かさを守ろう
<input type="checkbox"/>	ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	<input type="checkbox"/>	ゴール16 平和と公正をすべての人に
<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール8 働きがいも経済成長も	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール17 パートナリシップで目標を達成しよう
<input type="checkbox"/>	ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう		

## 重要業績評価指標の基準値と本年度の評価

…最終年度目標を達成したものの

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値	下段=実績値、上段=目標値					評価
			R3	R4	R5	R6	R7	
市街化区域内の人口を維持します	人	15,329 平成27年度	15,329 15,847	15,329 16,014			15,329	順調
中心市街地の一日当たりの歩行者数を増やします	人	1,400 令和元年度	1,700 1,320	1,700 未計測			1,700	遅れている
中心市街地にポケットパークを整備します(累計)	箇所	1 令和2年度	3 1	3 1			3	やや遅れ
道路交通社会実験を実施します(累計)	回	1 令和元年度	3 2	3 3			3	順調

## 重要業績評価指標の分析

重要業績評価指標 (KPI)	方針	重点化・再検討に当たっての留意事項	本年度の振り返り(成果・課題など)
市街化区域内の人口を維持します	現状		未利用地の宅地化が進み、人口増の傾向が続いている。
中心市街地の一日当たりの歩行者数を増やします	重点化	歩行者の安全に配慮した道路整備について地域住民と共に検討を行ない、賑わいの創出に努める。	新型コロナウイルスの影響が続き、中心市街地への人出が減少した。
中心市街地にポケットパークを整備します(累計)	現状		令和4年度に予定していた実施設計が令和5年度にずれ込んだため、若干遅れが生じている。
道路交通社会実験を実施します(累計)	現状		令和4年11月に予定していた3回目の社会実験を終え、順調である。

※ 重点化 : 関連事業に重きをおく。  
 現状 : 現行の事業運営とする。  
 再検討 : 関連事業の縮小、廃止、又は見直しを検討する。

施策の総合評価

総合評価	施策の抱える課題
C	中心市街地は郊外型大型店舗の進出により、通行者の減少や空き店舗の増加が見られ、まちの空洞化や高齢化に伴う移手段の確保が課題となっている。また、鉄道により、まちの東西が分断されているため、今後、駅周辺の再整備も重要となる。
	今後の施策の運営方針
一部に努力を要する	市民のニーズを的確に捉え、効果的な整備を実施し、誰もが安心して快適に暮らせる「コンパクトシティ」化を進める。

※ A：順調 B：概ね順調 C：一部に努力を要する D：全体的に努力を要する

構成する事務事業の評価

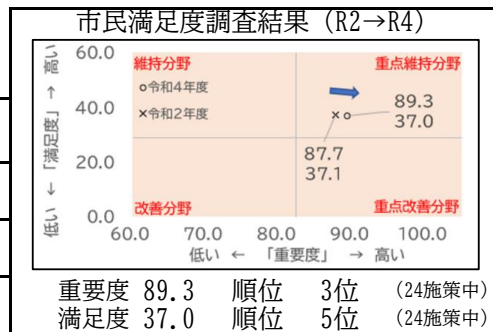
整理番号	重要	事業番号	事務事業名	担当課	本年度予算額(千円)	本年度決算額(千円)	外部評価	最終判断
309	○	3735	都市再生整備計画事業	都市整備課	77,844	77,798		継続
314		3725	都市計画推進事業	都市整備課	10,208	9,241		継続
319		3750	公園管理運営事業	都市整備課	122,430	139,879		継続

※ 構成する事務事業は、評価対象事業のみを掲載  
 施策の推進に当たり、市が重要と判断した事業に「○」を表示  
 外部評価対象事業に「○」が付いた事業は、令和5年度の行政評価委員会にて審議  
 最終判断は経営者会議で決定した事業の方向性を表示

# 令和4年度 施策評価シート

## 基本情報

基本目標	1 快適空間都市の創造
基本施策	② 人に優しい道路・交通体系づくり
所管部	産業建設部
所管課・関係課	都市整備課、土木管理課



施策の目標 誰もが安心して通行できる状態、快適に移動できる交通体系を構築します

現状と課題  
 ※第2次伊予市総合計画後期基本計画(令和3年3月策定)より転記  
 市内には、JR予讃線の内子線と愛ある伊予灘線の2線が走っており、中心部には松山市内からの伊予鉄道郡中線が敷設されています。広域幹線道路としては、国道56号と378号、高速道路としては、四国縦貫自動車道の伊予インターチェンジと中山スマートインターチェンジがあり、アクセスが良いことから多くの利用があります。国道56号においては「大平から中山間」、国道378号においては、「三秋から高野川間」の整備が停滞しており、早期完成に向けた国・県への要望や協力が必要です。伊予地域では、5年間の実証運行期間を経て、令和2年度からコミュニティバスの本格運行を開始しました。また、中山地域・双海地域では平成23年度からデマンドタクシーを運行しており、生活を支える移動手段として親しまれています。ただし、将来にわたり持続可能な交通機関とするためには、運行財源の確保が大きな課題となっています。

関連するSDGsのゴール

<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール1 貧困をなくそう	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール10 人や国の不平等をなくそう
<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール2 飢餓をゼロに	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール11 住み続けられるまちづくりを
<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール3 すべての人に健康と福祉を	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール12 つくる責任つかう責任
<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール4 質の高い教育をみんなに	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール13 気候変動に具体的な対策を
<input type="checkbox"/>	ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	<input type="checkbox"/>	ゴール14 海の豊かさを守ろう
<input type="checkbox"/>	ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	<input type="checkbox"/>	ゴール15 陸の豊かさを守ろう
<input type="checkbox"/>	ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	<input type="checkbox"/>	ゴール16 平和と公正をすべての人に
<input type="checkbox"/>	ゴール8 働きがいも経済成長も	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール17 パートナリーシップで目標を達成しよう
<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう		

## 重要業績評価指標の基準値と本年度の評価

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値	下段=実績値、上段=目標値					評価
			R3	R4	R5	R6	R7	
道路未整備箇所数を目標値まで減らします (国道/県道/市道)	箇所	4/12/5	4/12/4	4/12/4			1/4/3	やや遅れ
公共交通の利用者数を増やします (コミュニティバス/デマンドタクシー)	人/年	8,693/6,108	10,000/6,500	10,000/6,500			10,000/6,500	やや遅れ
交通体系づくりに対する市民の満足度を向上します	%	37.0	50.0	50.0			50.0	やや遅れ
		令和2年度	37.0	37.0				

## 重要業績評価指標の分析

重要業績評価指標 (KPI)	方針	重点化・再検討に当たっての留意事項	本年度の振り返り (成果・課題など)
道路未整備箇所数を目標値まで減らします (国道/県道/市道)	現状	早期の事業用地取得や財源確保に努め、整備促進に努める。	用地交渉等が難航し、遅れ気味であり、箇所数は変更できないが、愛媛県と連携しながら進めることができた。
公共交通の利用者数を増やします (コミュニティバス/デマンドタクシー)	重点化	利用者のニーズを踏まえた見直し等について検討し、利用促進に努める。	コミュニティバスは目標とする利用者数を超え、順調に伸びているが、デマンドタクシーは人口減少と共に利用者の減少が続いており、運行体制の見直しを検討する必要がある。
交通体系づくりに対する市民の満足度を向上します	現状		民間公共交通機関との接続に関して工夫し、市民の利用者の満足度を向上させる必要がある。

※ 重点化 : 関連事業に重きをおく。  
 現状 : 現行の事業運営とする。  
 再検討 : 関連事業の縮小、廃止、又は見直しを検討する。

施策の総合評価

総合評価	施策の抱える課題
C	<p>道路整備には多大な費用を必要とするが、近年、橋梁や道路照明等の各施設も耐用年数を迎え、更新時期と重なるため、財源の確保が重要課題となっている。コミュニティバスの運行について、本格運行から3年が経過しており、今後、利用者のニーズを踏まえたルート再編が必要となっている。</p>
	今後の施策の運営方針
一部に努力を要する	<p>財源に限りがあるため、優先順位をつけ効果的な事業実施に努める。 コミュニティバスについては、令和7年度のルート改編に向け、地域のニーズを踏まえ、関係機関との協議・検討を適宜実施し、持続可能なものとする。</p>

※ A：順調 B：概ね順調 C：一部に努力を要する D：全体的に努力を要する

構成する事務事業の評価

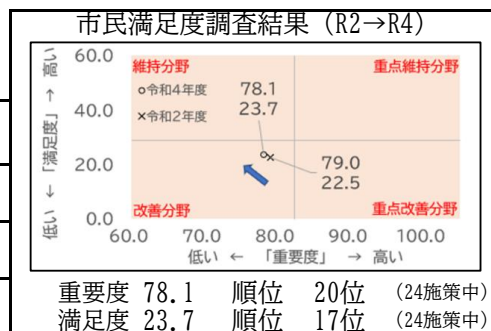
整理番号	重要	事業番号	事務事業名	担当課	本年度 予算額 (千円)	本年度 決算額 (千円)	外部 評価	最終 判断
312	○	514	地域公共交通事業	都市整備課	57,174	57,060		継続
327		3390	法定外公共物管理事業	土木管理課	28,601	27,358		継続
328		3450	道路台帳作成事業	土木管理課	7,500	6,788		継続
330		3470	道路維持修繕事業	土木管理課	139,908	139,218		継続
331		3480	街路樹等管理事業	土木管理課	1,546	1,363		継続
333	○	3580	橋梁維持事業	土木管理課	81,953	81,915		継続
335		3520	市単独道路改良事業	土木管理課	2,969	2,963		継続
337		3582	橋梁新設改良事業	土木管理課	11,690	11,634		継続

※ 構成する事務事業は、評価対象事業のみを掲載  
 施策の推進に当たり、市が重要と判断した事業に「○」を表示  
 外部評価対象事業に「○」が付いた事業は、令和5年度の行政評価委員会にて審議  
 最終判断は経営者会議で決定した事業の方向性を表示

# 令和4年度 施策評価シート

## 基本情報

基本目標	1 快適空間都市の創造
基本施策	③ 情報化社会に対応した基盤づくり
所管部	市民福祉部、企画振興部
所管課・関係課	市民課、企画政策課、地域創生課



施策の目標 「デジタルで全市民とつながる伊予市」の実現に向け、住み続けられる基盤づくりの推進を行うとともに、市民の行政手続きに係る負担を軽減します

現状と課題 近年、各種情報のデジタル化やインターネットなどの普及・発達により、社会に流通している情報量が加速的に増加しており、メディアの世代交代や構造変化も急速に進展しています。市内の情報通信基盤の整備を推進し、定住促進や教育環境の向上、産業振興など多面的な環境整備に取り組む必要があります。行政サービスをオンライン化するとともに、行政手続きの統一や簡素化を行い、いつでもどこでも行政サービスが受けられる仕組みづくりが求められています。また、業務ツールやシステム環境の整備を実施し、迅速な施策の推進を図り、新しい働き方に取り組む必要があります。

※第2次伊予市総合計画後期基本計画 (令和3年3月策定) より転記

関連するSDGsのゴール	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール1 貧困をなくそう	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール10 人や国の不平等をなくそう
	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール2 飢餓をゼロに	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール11 住み続けられるまちづくりを
	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール3 すべての人に健康と福祉を	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール12 つくる責任つかう責任
	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール4 質の高い教育をみんなに	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール13 気候変動に具体的な対策を
	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	<input type="checkbox"/>	ゴール14 海の豊かさを守ろう
	<input type="checkbox"/>	ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	<input type="checkbox"/>	ゴール15 陸の豊かさを守ろう
	<input type="checkbox"/>	ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール16 平和と公正をすべての人に
	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール8 働きがいも経済成長も	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール17 パートナリシップで目標を達成しよう
	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう		

## 重要業績評価指標の基準値と本年度の評価

…最終年度目標を達成したもの

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値	下段=実績値、上段=目標値					評価	
			R3	R4	R5	R6	R7		
ホームページ訪問件数を増やします (月間)	件/月	38,000	50,000	60,000			80,000	概ね順調	
		令和元年度	58,432	57,441				10,000	順調
		令和2年度	6,843	7,000	9,000				
プッシュ型ユーザ登録者数を増やします	人	6,843	7,000	9,000			10,000	順調	
		令和2年度	8,581	10,430				100.00	概ね順調
		令和元年度	95.12	100.00	100.00				
情報ネットワーク網を整備します	%	95.12	100.00	100.00			100.00	概ね順調	
		令和2年度	95.74	95.74				1,500	順調
		令和元年度	116	3,240	4,000				
キャッシュレス決済件数を増やします	件	116	3,240	4,000			1,500	順調	
			3,764	4,801					

## 重要業績評価指標の分析

重要業績評価指標 (KPI)	方針	重点化・再検討に当たっての留意事項	本年度の振り返り (成果・課題など)
ホームページ訪問件数を増やします (月間)	重点化	市民向け行政情報と移住者など市外向けの情報を区別し、分かりやすく発信する仕組みを検討する。	本市の魅力発信と関係人口創出に特化したシティプロモーション特設サイトを構築するため令和5年度当初予算に計上、採択された。
プッシュ型ユーザ登録者数を増やします	重点化	プロジェクトチームによるSNSを活用した本市の魅力の効果的な情報発信について検討する。	LINE登録者数の更なる増加に向け、迅速かつ確かな情報提供、機能拡張に伴う利便性の向上等に努めている。
情報ネットワーク網を整備します	重点化	光ファイバ未整備地域の解消に向け、引き続き事業を推進する。	光ファイバの整備について、整備事業者との連携・協調のもと、着実に進めることができている。
キャッシュレス決済件数を増やします	現状	公金収納に係るキャッシュレスの推進に向け、取扱い範囲や手段など検討を重ねる。	行政窓口のキャッシュレス化について一定の効果を上げていることから、利用対象の拡大について研究・検討を進める必要がある。

※ 重点化 : 関連事業に重きをおく。  
現状 : 現行の事業運営とする。  
再検討 : 関連事業の縮小、廃止、又は見直しを検討する。

施策の総合評価

総合評価	施策の抱える課題
B	現在のホームページは、情報発信手段としてみた場合、行政手続に関する内容が大部分を占めており、市民や市に関係する事業者等がターゲットとなっていることから、女性議会でも指摘があったように、外部への発信力が弱いと認識している。また、様々な取組は進めているもののプッシュ型ユーザーの登録者数が伸び悩んでいる現状にある。一方で、市内全域への光ファイバ整備完了後のこれらの利活用について、財源確保を含めて検討する必要がある。
概ね順調	今後の施策の運営方針
	市公式ホームページと別に、令和5年度よりシティプロモーションに特化したサイトを構築し、総合的に本市の魅力を発信し、多くの人々の興味を引き付けることで、本市のファンを増やしていく。また、光ファイバ網を活用した施策推進に向けては、設備等の整備費及び維持管理経費等の課題もあるため、国等の交付金及び補助金制度を活用しながら、有効かつ効果的な事業・取組について検討する。

※ A：順調 B：概ね順調 C：一部に努力を要する D：全体的に努力を要する

構成する事務事業の評価

整理番号	重要	事業番号	事務事業名	担当課	本年度 予算額 (千円)	本年度 決算額 (千円)	外部 評価	最終 判断
123		650	戸籍住民基本台帳一般事務	市民課	40,189	38,958		継続
124	○	651	マイナンバー事務	市民課	11,332	10,974	○	重点化
467	○	410	情報化推進事業	企画政策課	147,995	147,483		継続
468	○	415	高度無線環境整備推進事業	企画政策課	0	0		継続

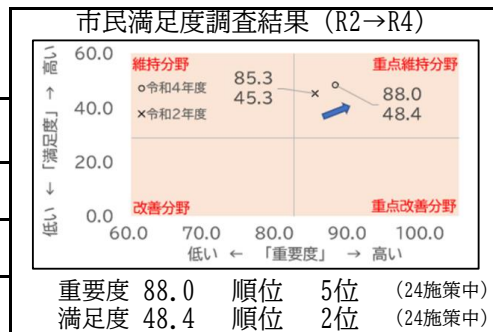
※ 構成する事務事業は、評価対象事業のみを掲載  
 施策の推進に当たり、市が重要と判断した事業に「○」を表示  
 外部評価対象事業に「○」が付いた事業は、令和5年度の行政評価委員会にて審議  
 最終判断は経営者会議で決定した事業の方向性を表示



# 令和4年度 施策評価シート

## 基本情報

基本目標	1 快適空間都市の創造
基本施策	④ 安らぎのある住環境づくり
所管部	産業建設部
所管課・関係課	都市整備課、土木管理課



施策の目標 市民が住み続けたいと思える安全・安心な住環境づくりを進めます

現状と課題  
 ※第2次伊予市総合計画後期基本計画(令和3年3月策定)より転記  
 市内では、民間事業者による宅地開発が進み、住宅総数は増加傾向にあります。一方で、人口減少や世代交代による空き家や適正な利用が図られていない土地が増えています。また、市内の木造住宅の耐震化は進んでおらず、今後発生が予想されている南海トラフ地震などによる倒壊が懸念されます。市営住宅についても、建設から長い年月を経過した物件が多く、老朽化対策とともにバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化を推進し、高齢者を含めた全ての人が安心して暮らせる住環境整備が必要です。市民一人ひとりが認識と危機感を持つこと、また地域住民との合意形成が重要となっています。

関連するSDGsのゴール	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール1 貧困をなくそう	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール10 人や国の不平等をなくそう
	<input type="checkbox"/>	ゴール2 飢餓をゼロに	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール11 住み続けられるまちづくりを
	<input type="checkbox"/>	ゴール3 すべての人に健康と福祉を	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール12 つくる責任つかう責任
	<input type="checkbox"/>	ゴール4 質の高い教育をみんなに	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール13 気候変動に具体的な対策を
	<input type="checkbox"/>	ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	<input type="checkbox"/>	ゴール14 海の豊かさを守ろう
	<input type="checkbox"/>	ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	<input type="checkbox"/>	ゴール15 陸の豊かさを守ろう
	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	<input type="checkbox"/>	ゴール16 平和と公正をすべての人に
	<input type="checkbox"/>	ゴール8 働きがいも経済成長も	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール17 パートナリーシップで目標を達成しよう
	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう		

## 重要業績評価指標の基準値と本年度の評価

…最終年度目標を達成したもの

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値	下段=実績値、上段=目標値					評価
			R3	R4	R5	R6	R7	
木造住宅耐震診断事業の実施戸数を増加します(累計)	戸	71	86	86			90	順調
木造住宅耐震改修事業の実施戸数を増やします(累計)	戸	15	18	18			25	やや遅れ
老朽危険空き家除去支援事業の実施戸数を増加します(累計)	戸	31	41	53			80	順調

## 重要業績評価指標の分析

重要業績評価指標 (KPI)	方針	重点化・再検討に当たっての留意事項	本年度の振り返り(成果・課題など)
木造住宅耐震診断事業の実施戸数を増加します(累計)	重点化	事業の必要性について更に周知を図り、事業推進に努める。	固定資産税納税通知書に補助についてのお知らせを同封したことにより、実施戸数が増えた。
木造住宅耐震改修事業の実施戸数を増やします(累計)	重点化	耐震診断実施済の建物所有者へ周知啓発を行ない、事業推進に努める。	今年度の耐震診断実施者に対し、改修について啓発していく必要がある。
老朽危険空き家除去支援事業の実施戸数を増加します(累計)	現状		今後も目標達成できるよう、啓発等に努める。

※ 重点化 : 関連事業に重きをおく。  
 現状 : 現行の事業運営とする。  
 再検討 : 関連事業の縮小、廃止、又は見直しを検討する。

施策の総合評価

総合評価	施策の抱える課題
B	住宅所有者へパンフレットの配布やホームページへの掲載等、補助制度の周知に努めているが、耐震診断実施後、所有者の世帯構成や費用の面が課題となり改修が進まない。耐用年数を経過した市営住宅が数多くあることから、その対策が急務である。
	今後の施策の運営方針
概ね順調	<p>【一般住宅】個人財産を適正に管理してもらえるように制度周知に努め、安全・安心な住環境づくりを進める。</p> <p>【市営住宅】長寿命化計画に基づき、適正な管理に努める。</p>

※ A：順調 B：概ね順調 C：一部に努力を要する D：全体的に努力を要する

構成する事務事業の評価

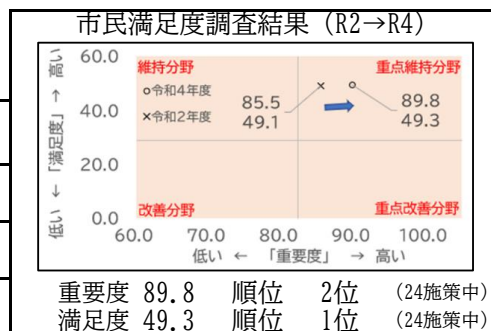
整理番号	重要	事業番号	事務事業名	担当課	本年度 予算額 (千円)	本年度 決算額 (千円)	外部 評価	最終 判断
317	○	3810	市営住宅管理事業	都市整備課	38,249	40,346		継続
318	○	3830	一般住宅事業	都市整備課	18,794	18,794		継続
338	○	3415	急傾斜地崩壊対策事業	土木管理課	21,916	20,500		継続
339		3411	集落・避難路保全斜面地震対策事業	土木管理課	16,768	13,772		継続

※ 構成する事務事業は、評価対象事業のみを掲載  
 施策の推進に当たり、市が重要と判断した事業に「○」を表示  
 外部評価対象事業に「○」が付いた事業は、令和5年度の行政評価委員会にて審議  
 最終判断は経営者会議で決定した事業の方向性を表示

# 令和4年度 施策評価シート

## 基本情報

基本目標	1 快適空間都市の創造
基本施策	⑤ 潤いのある水環境づくり
所管部	産業建設部
所管課・関係課	土木管理課、環境政策課、上下水道課
施策の目標	市民が安全・安心な水の利用ができる環境、また水処理の心配がなく暮らせる環境をつくります



**現状と課題**

※第2次伊予市総合計画後期基本計画(令和3年3月策定)より転記

【水道】本市の上水道の1日平均配水量は、11,036㎥/日(平成30年度実績)であり、これまでの最大使用量(平成13年度:12,276㎥/日)を考えると、当面は安定供給ができるものと想定されます。近い将来、南海トラフ地震の発生が予想される中、本市の上水道の基幹管路には耐震性が低く、老朽化が進んでいるものがあり、災害に強い耐震管への更新が喫緊の課題となっています。

【下水道】汚水処理については、公共下水道事業、農業集落排水事業及び合併処理浄化槽整備事業等の実施、また市街地の浸水防除対策として、3つの雨水ポンプ場の整備により生活環境の保全に努めています。近年の異常気象による降雨に対し、雨水ポンプ場整備については、ストックマネジメント計画を策定し、施設の更新、改修、修繕を行う必要がありますが、莫大な整備費用が想定され、雨水公費・汚水私費負担の原則により、財源の確保が課題となっています。

関連するSDGsのゴール

<input type="checkbox"/>	ゴール1 貧困をなくそう	<input type="checkbox"/>	ゴール10 人や国の不平等をなくそう
<input type="checkbox"/>	ゴール2 飢餓をゼロに	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール11 住み続けられるまちづくりを
<input type="checkbox"/>	ゴール3 すべての人に健康と福祉を	<input type="checkbox"/>	ゴール12 つくる責任つかう責任
<input type="checkbox"/>	ゴール4 質の高い教育をみんなに	<input type="checkbox"/>	ゴール13 気候変動に具体的な対策を
<input type="checkbox"/>	ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	<input type="checkbox"/>	ゴール14 海の豊かさを守ろう
<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール15 陸の豊かさを守ろう
<input type="checkbox"/>	ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	<input type="checkbox"/>	ゴール16 平和と公正をすべての人に
<input type="checkbox"/>	ゴール8 働きがいも経済成長も	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール17 パートナリーシップで目標を達成しよう
<input type="checkbox"/>	ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう		

## 重要業績評価指標の基準値と本年度の評価

…最終年度目標を達成したものの

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値	下段=実績値、上段=目標値					評価
			R3	R4	R5	R6	R7	
上水道基幹管路の耐震化率を向上させます	%	43.3	44.6	47.9			57.4	概ね順調
雨水ポンプ場施設の更新率を高めます	%	53.5	53.5	53.5			100.0	概ね順調

## 重要業績評価指標の分析

重要業績評価指標 (KPI)	方針	重点化・再検討に当たっての留意事項	本年度の振り返り (成果・課題など)
上水道基幹管路の耐震化率を向上させます	現状		資材高騰により事業費が増加傾向であるが、国庫補助金等を継続して活用し、概ね計画どおり進捗していると判断できる。
雨水ポンプ場施設の更新率を高めます	重点化	ストックマネジメント計画に基づいた事業進捗に努める。	ストックマネジメント計画に基づき、予定通り今年度実施設計の作成を終えた。

※ 重点化 : 関連事業に重きをおく。  
 現状 : 現行の事業運営とする。  
 再検討 : 関連事業の縮小、廃止、又は見直しを検討する。

施策の総合評価

総合評価	施策の抱える課題
B	<p>【水道】近い将来、発生が予想される巨大地震に備え基幹管路の耐震化を進めなければならない。</p> <p>【下水道】近年の異常気象によるゲリラ豪雨へ対応するため、老朽化や更新時期を迎えた施設の適正な維持管理・運営を行わなければならない。</p> <p>上下水道共に多大な事業費が必要となるため、財源の確保が課題となっている。</p>
概ね順調	<p>今後の施策の運営方針</p> <p>【水道】補助事業を活用した事業実施により水道施設の耐震化を進め、水資源の有効活用と水道水の安定供給に努める。</p> <p>【下水道】ストックマネジメント計画に基づいた更新、維持管理を進め、浸水被害を未然に防ぐよう努める。</p>

※ A：順調 B：概ね順調 C：一部に努力を要する D：全体的に努力を要する

構成する事務事業の評価

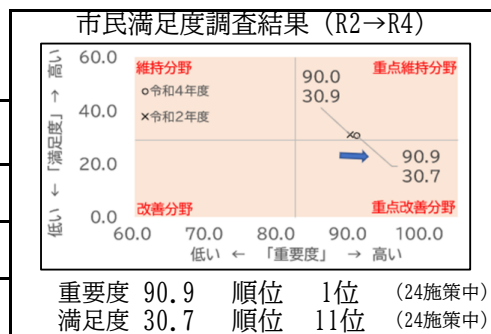
整理番号	重要	事業番号	事務事業名	担当課	本年度 予算額 (千円)	本年度 決算額 (千円)	外部 評価	最終 判断
340	○	3590	ポンプ場管理事業	土木管理課	4,053	3,141		継続
341		3600	樋門管理事業	土木管理課	1,000	752		継続
343		3631	河川維持事業	土木管理課	2,500	1,856		継続
404		2368	節水等推進事業	環境政策課	180	49		休廃止
414		2350	簡易水道運営事業	上下水道課	72,808	72,766		継続
415		8600	(飲供)一般管理事業	上下水道課	55	24		継続
416		9943	(簡水)水道料金収納徴収事業	上下水道課	4,945	4,625		継続
418		2367	飲料水供給施設事業	上下水道課	3,997	3,200		継続
419		9914	(水道)老朽管更新事業	上下水道課	24,230	27,198		継続
420		9915	(水道)公共下水道関連事業	上下水道課	1,600	1,482		継続
421		9917	(水道)単独事業	上下水道課	69,198	20,436		継続
422		9916	(水道)道路改良関連事業	上下水道課	12,248	10,718		継続
423		9903	(水道)配水地等清掃事業	上下水道課	844	844		継続
424		9904	(水道)漏水調査事業	上下水道課	18,684	15,070		継続
425		9939	(水道)水のたいせつ啓発事業	上下水道課	204	203		継続
427		9941	(簡水)原水及び浄水維持管理事業	上下水道課	19,048	17,402		継続
428		9942	(簡水)配水及び給水維持管理事業	上下水道課	5,656	4,468		継続
431		9908	(水道)水道料金収納徴収事業	上下水道課	29,669	28,198		継続
435	○	9913	(水道)耐震化事業	上下水道課	258,545	241,773		継続
436		9906	(水道)検定満期メーター取替事業	上下水道課	14,626	10,709		継続
437		9946	(簡水)建設改良費事業	上下水道課	10,756	9,031		継続
438		8605	(飲供)維持管理事業	上下水道課	3,670	2,990		継続
439		9907	(水道)配・給水管等漏水修理事業	上下水道課	11,250	10,231		継続
440		2375	飲用井戸整備事業	上下水道課	2,000	1,321		継続
462		9962	(下水道)管渠整備事業	上下水道課	17,511	16,355		継続
463	○	9961	(下水道)ポンプ場維持管理事業	上下水道課	32,666	27,887		継続

※ 構成する事務事業は、評価対象事業のみを掲載  
 施策の推進に当たり、市が重要と判断した事業に「○」を表示  
 外部評価対象事業に「○」が付いた事業は、令和5年度の行政評価委員会にて審議  
 最終判断は経営者会議で決定した事業の方向性を表示

# 令和4年度 施策評価シート

## 基本情報

基本目標	1 快適空間都市の創造
基本施策	⑥ 安全・安心に暮らせる災害に強いまちづくり
所管部	総務部、産業建設部
所管課・関係課	危機管理課、農林水産課、土木管理課



施策の目標 災害による逃げ遅れ、犠牲者のない災害に強いまちづくりを推進します

現状と課題  
 ※第2次伊予市総合計画後期基本計画(令和3年3月策定)より転記  
 近年、大規模地震や集中豪雨など、毎年全国のどこかで想定外の自然災害が起こり、犠牲者を出す災害も多発しています。災害が少ないと言われる本市でも、いつ大災害に見舞われるか分かりません。平時から家庭、地域、事業所及び行政がそれぞれの立場で災害に備え、防災・減災に向け取り組む必要があります。災害時には相互に連携し、全市的に取り組む必要があることから、「自分たちのまちは自分たちで守る」という防災意識を高め、命を守れる体制づくり、また総合的な防災・減災対策が求められています。

関連するSDGsのゴール	<input type="checkbox"/>	ゴール1 貧困をなくそう	<input type="checkbox"/>	ゴール10 人や国の不平等をなくそう
	<input type="checkbox"/>	ゴール2 飢餓をゼロに	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール11 住み続けられるまちづくりを
	<input type="checkbox"/>	ゴール3 すべての人に健康と福祉を	<input type="checkbox"/>	ゴール12 つくる責任つかう責任
	<input type="checkbox"/>	ゴール4 質の高い教育をみんなに	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール13 気候変動に具体的な対策を
	<input type="checkbox"/>	ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	<input type="checkbox"/>	ゴール14 海の豊かさを守ろう
	<input type="checkbox"/>	ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール15 陸の豊かさを守ろう
	<input type="checkbox"/>	ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	<input type="checkbox"/>	ゴール16 平和と公正をすべての人に
	<input type="checkbox"/>	ゴール8 働きがいも経済成長も	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール17 パートナリシップで目標を達成しよう
	<input type="checkbox"/>	ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう		

## 重要業績評価指標の基準値と本年度の評価

…最終年度目標を達成したもの

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値	下段=実績値、上段=目標値				評価
			R3	R4	R5	R6	
消防団詰所の耐震化率を向上します	%	82.9	85.4	87.8		95.1	順調
		令和元年度	82.9	87.8			
防災訓練及び防災に関する学習会参加者数を増やします(年間)	人/年	3,000	3,200	3,200		4,000	やや遅れ
		令和元年度	875	650			
自主防災会の防災訓練実施率向上を目指します	%	60.0	65.0	65.0		100	やや遅れ
		令和2年度	21.5	29.2			
備蓄食料の備蓄数を維持します	食	9,000	9,000	9,000		9,000	順調
		令和元年度	9,000	9,000			
実施年度における森林整備(間伐)を実施します	ha/年	120	130	75		180	順調
		令和2年度	91	117			

## 重要業績評価指標の分析

重要業績評価指標 (KPI)	方針	重点化・再検討に当たっての留意事項	本年度の振り返り(成果・課題など)
消防団詰所の耐震化率を向上します	現状		計画的に詰所の耐震化への更新ができた。
防災訓練及び防災に関する学習会参加者数を増やします(年間)	再検討	興味を持って参加できる訓練内容を検討する。	小学校の避難訓練や各種団体研修時に出張講座を行い防災意識を高めた。
自主防災会の防災訓練実施率向上を目指します	再検討	感染防止対策用の資機材を活用した避難所運営訓練の実施を検討する。	訓練企画運営のため、自主防災会での防災士の役割を明確にする必要がある。
備蓄食料の備蓄数を維持します	現状		賞味期限切れの備蓄食料についても有効活用ができ、計画的な購入・補充ができた。
実施年度における森林整備(間伐)を実施します	現状		森林施業の集約化や路網整備により低コスト化を図り計画的に整備を推進できた。

※ 重点化 : 関連事業に重きをおく。  
 現状 : 現行の事業運営とする。  
 再検討 : 関連事業の縮小、廃止、又は見直しを検討する。

施策の総合評価

総合評価	施策の抱える課題
B	気候変動に伴う災害の激甚化、頻発化が顕著になっている。 県内自治体において、「避難指示の伝達が遅れ、避難所開設にも時間がかかった」との報道があった。迅速な情報伝達の流れを再点検する必要がある。
	今後の施策の運営方針
概ね順調	想定外の災害、被害が発生することを想定した取組が必要とされる中、地域住民、職員とともに訓練を積み重ねていく必要がある。 また、計画的に間伐を実施し、森林の保全に努め、自然災害の低減を図る。

※ A：順調 B：概ね順調 C：一部に努力を要する D：全体的に努力を要する

構成する事務事業の評価

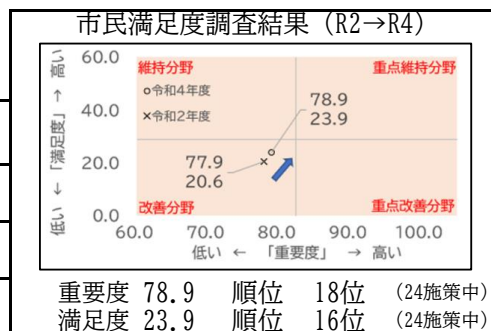
整理番号	重要	事業番号	事務事業名	担当課	本年度 予算額 (千円)	本年度 決算額 (千円)	外部 評価	最終 判断
41		3910	消防団人件費支給事務	危機管理課	30,249	29,009		継続
43		3930	消防団員手当支給事務	危機管理課	34,352	21,935		継続
44		3940	消防団設備事業	危機管理課	15,751	15,948		継続
45		3950	消防関係団体育成事業	危機管理課	666	577		継続
46		3960	消防団運営事業	危機管理課	5,938	4,542		継続
47		3970	消防団施設事業	危機管理課	56,419	52,803		継続
48		3980	防火水槽事業	危機管理課	6,997	5,674		継続
49		4020	出動手当支給事務	危機管理課	4,420	0		継続
50		4030	水防業務推進事業	危機管理課	814	662		継続
51		440	防災会議事業	危機管理課	67	49		継続
52		460	防災行政無線等管理事業	危機管理課	44,936	34,961	○	重点化
53		477	国民保護協議会事業	危機管理課	50	0		継続
56		486	避難行動要支援者支援事業	危機管理課	801	19		継続
57	○	560	防犯対策事業	危機管理課	5,924	5,902	○	継続
58		570	安全安心まちづくり支援事業	危機管理課	102	84		継続
59		488	感染症拡大防止対策備蓄物資等整備事業	危機管理課	6,447	3,830		継続
60		300	交通安全施設整備事業	危機管理課	4,023	3,963		継続
61		310	交通指導員設置事業	危機管理課	1,203	837		継続
62		320	伊予交通安全協会交通指導員設置事業	危機管理課	4,142	4,142		継続
63	○	330	交通安全推進事業	危機管理課	1,684	1,375		継続
64		481	防災訓練事業	危機管理課	214	11		継続
65		482	自主防災組織等育成事業	危機管理課	2,188	1,083		継続
66		483	備蓄物資等整備事業	危機管理課	2,413	2,010		継続
344		5285	単独災害復旧事業	土木管理課	9,757	9,092		継続
345		5295	河川災害復旧事業	土木管理課	5,000	4,358		継続
346	○	5280	道路補助災害復旧事業	土木管理課	26,492	26,492		継続

※ 構成する事務事業は、評価対象事業のみを掲載  
 施策の推進に当たり、市が重要と判断した事業に「○」を表示  
 外部評価対象事業に「○」が付いた事業は、令和5年度の行政評価委員会にて審議  
 最終判断は経営者会議で決定した事業の方向性を表示

# 令和4年度 施策評価シート

## 基本情報

基本目標	1 快適空間都市の創造
基本施策	⑦ 循環型社会構築に向けた環境づくり
所管部	産業建設部
所管課・関係課	環境政策課



施策の目標 誰もが環境問題に関心を持ち、3R（リデュース、リユース、リサイクル）運動の徹底が図られたクリーンな伊予市を目指します

現状と課題  
※第2次伊予市総合計画後期基本計画（令和3年3月策定）より転記  
 循環型社会の構築を目指し、市民の協力による分別収集の徹底とリサイクルの推進を図っていますが、一部では理解不足による住民トラブルや廃棄物の不適正処理が後を絶ちません。更なる3R運動の徹底や廃棄物の適正処理について、一層の取組が必要です。  
 本市は温暖な気候で、海や山などの豊かな自然にも恵まれた地域ですが、近年地球温暖化が原因と思われる極端な気象現象など、地球環境問題は年々深刻さを増しています。更なる環境負荷の低減、再生可能エネルギーの利用促進に向け、市民の関心高め、理解を深める取組が必要となっています。

関連するSDGsのゴール

<input type="checkbox"/>	ゴール1 貧困をなくそう	<input type="checkbox"/>	ゴール10 人や国の不平等をなくそう
<input type="checkbox"/>	ゴール2 飢餓をゼロに	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール11 住み続けられるまちづくりを
<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール3 すべての人に健康と福祉を	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール12 つくる責任つかう責任
<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール4 質の高い教育をみんなに	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール13 気候変動に具体的な対策を
<input type="checkbox"/>	ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール14 海の豊かさを守ろう
<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール15 陸の豊かさを守ろう
<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	<input type="checkbox"/>	ゴール16 平和と公正をすべての人に
<input type="checkbox"/>	ゴール8 働きがいも経済成長も	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール17 パートナリシップで目標を達成しよう
<input type="checkbox"/>	ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう		

## 重要業績評価指標の基準値と本年度の評価

…最終年度目標を達成したもの

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値	下段=実績値、上段=目標値					評価
			R3	R4	R5	R6	R7	
ごみの排出量を抑制します	トン/年	9,822 令和元年度	9,705 10,566	9,588 10,385			9,235	やや遅れ
再資源化率を向上させます	%	17.0 令和元年度	18.6 14.6	20.2 15.1			25.0	やや遅れ

## 重要業績評価指標の分析

重要業績評価指標 (KPI)	方針	重点化・再検討に当たっての留意事項	本年度の振り返り (成果・課題など)
ごみの排出量を抑制します	重点化	排出量抑制のため、更なる周知に努める。	令和5年度から松山市へごみ処理が変更になることから、分別方法の一部変更等について、広報と市ホームページを通じ、市民への周知に努めた。
再資源化率を向上させます	重点化	再資源化率の向上のため、更なる周知に努める。	令和5年度から松山市へごみ処理が変更になることから、資源ごみの分別方法の変更に取組み、可燃ごみの総量抑制に努めた。

※ 重点化 : 関連事業に重きをおく。  
 現状 : 現行の事業運営とする。  
 再検討 : 関連事業の縮小、廃止、又は見直しを検討する。

施策の総合評価

総合評価	施策の抱える課題
C	伊予地区清掃センターの施設老朽化に伴い、松山ブロックでのごみ処理広域化が進められており、今後、処理経費の増加が想定される。 地球温暖化による異常気象など環境問題が深刻さを増している。
	今後の施策の運営方針
一部に努力を要する	ごみの発生抑制を図るため、分別収集やリサイクル推進の周知に努め、循環型社会の構築を目指す。 環境負荷の低減を図るため、再生可能エネルギーの利用促進等の周知に努める。

※ A：順調 B：概ね順調 C：一部に努力を要する D：全体的に努力を要する

構成する事務事業の評価

整理番号	重要	事業番号	事務事業名	担当課	本年度 予算額 (千円)	本年度 決算額 (千円)	外部 評価	最終 判断
398		2160	防疫等対策事業	環境政策課	115	33		継続
399		2185	生活環境保全事業	環境政策課	3,856	2,009		継続
400		2210	環境保全対策事業	環境政策課	2,026	1,549		継続
401	○	2260	ごみ処理事業	環境政策課	366,513	351,499		継続
402	○	2270	ごみ減量推進事業	環境政策課	1,683	1,030		継続
405		2175	狂犬病予防等事業	環境政策課	1,210	942		継続
407	○	2191	新エネルギー等関連設備導入促進事業	環境政策課	2,400	2,400		継続

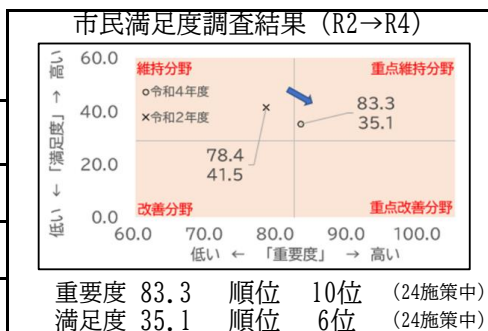
※ 構成する事務事業は、評価対象事業のみを掲載  
 施策の推進に当たり、市が重要と判断した事業に「○」を表示  
 外部評価対象事業に「○」が付いた事業は、令和5年度の行政評価委員会にて審議  
 最終判断は経営者会議で決定した事業の方向性を表示



# 令和4年度 施策評価シート

## 基本情報

基本目標	2 健康福祉都市の創造
基本施策	① 次代を担う子どもたちの育成支援
所管部	市民福祉部、教育委員会事務局
所管課・関係課	子育て支援課、社会教育課



施策の目標 誰もが安心して子育てができる環境を整え、子育て世代が市内で子育てしたいと思うまちとなるよう、地域ぐるみで家庭教育を支援する体制の構築を目指します

現状と課題  
※第2次伊予市総合計画後期基本計画(令和3年3月策定)より転記  
本市は、病児・病後児保育室の整備や子ども総合センターを設置し、子育て期のワークライフバランスの確立に向けた支援施策の充実に努めています。しかしながら、子育て世帯のライフスタイルの複雑・多様化による保育サービスの多様化、児童虐待に係る相談件数の増加、厳しい財政事情を考慮すると、子育てサービスの拡充は難しいのが現状です。また子育て期における母親の就労率の増加により、未就学児や学童の保育需要が高まっていることから、近隣市町との連携など広域の施設利用を図る必要が生じています。  
また、家庭教育支援チームについては、様々な支援事業を通して、保護者から信頼されるチーム運営が求められていますが、支援員やコーディネーターの人材確保や人材養成面に課題があります。

関連するSDGsのゴール	<input type="checkbox"/>	ゴール1 貧困をなくそう	<input type="checkbox"/>	ゴール10 人や国の不平等をなくそう
	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール2 飢餓をゼロに	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール11 住み続けられるまちづくりを
	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール3 すべての人に健康と福祉を	<input type="checkbox"/>	ゴール12 つくる責任つかう責任
	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール4 質の高い教育をみんなに	<input type="checkbox"/>	ゴール13 気候変動に具体的な対策を
	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	<input type="checkbox"/>	ゴール14 海の豊かさを守ろう
	<input type="checkbox"/>	ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	<input type="checkbox"/>	ゴール15 陸の豊かさを守ろう
	<input type="checkbox"/>	ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	<input type="checkbox"/>	ゴール16 平和と公正をすべての人に
	<input type="checkbox"/>	ゴール8 働きがいも経済成長も	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール17 パートナリシップで目標を達成しよう
	<input type="checkbox"/>	ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう		

## 重要業績評価指標の基準値と本年度の評価

…最終年度目標を達成したもの

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値	下段=実績値、上段=目標値					評価
			R3	R4	R5	R6	R7	
認定こども園の設置数を増やします(累計)	施設	5	5	5			7	概ね順調
令和2年度		5	5					
保育所入所者数(4/1時点)を増やします	人	789	780	781			800	概ね順調
令和2年度		781	765					
放課後児童健全育成事業登録者数(4/1時点)をなるべく維持します	人	479	450	453			450	概ね順調
令和2年度		469	453					
病児・病後児保育事業利用充足率を維持します	%	99.4	100.0	100.0			100.0	概ね順調
令和元年度		97.7	100.0					

## 重要業績評価指標の分析

重要業績評価指標 (KPI)	方針	重点化・再検討に当たっての留意事項	本年度の振り返り(成果・課題など)
認定こども園の設置数を増やします(累計)	重点化	令和6年度より北山崎幼稚園となかむら保育所統合予算を計上、着実な進捗を目指す。	ほぼ順調に計画推進中である。
保育所入所者数(4/1時点)を増やします	再検討	出生数の低下と少子化傾向が顕著な中、経営的英断が求められている。	待機児童が出ないよう調整に努めたが、年度途中からは旧伊予市内においては定員超過により受け入れが困難な状況であった。
放課後児童健全育成事業登録者数(4/1時点)をなるべく維持します	現状		待機児童が出た校区もあったが、受入れを工夫するなど利用拡充に努めた。
病児・病後児保育事業利用充足率を維持します	再検討	政府の新型コロナウイルス感染症の5類変更(次年度5月予定)と季節性インフルエンザ流行等を加味した方針を決定する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、受入れの条件を厳しくしたことで、利用可能な子どもが少なくなった。

※ 重点化 : 関連事業に重きをおく。  
現状 : 現行の事業運営とする。  
再検討 : 関連事業の縮小、廃止、又は見直しを検討する。

施策の総合評価

総合評価	施策の抱える課題
B	平成30年と本年8月末を比して人口37,309人が1,702人減(-4.6%)の35,607人、その内0歳(出生)236人が73人減(-30.9%)の163人と少子高齢化の状況下で出生数の激減が顕著となっており、安心して子どもを産み育てる環境に至っていない。特に物価高騰が長期化し、経済が低迷する中で、待った無しの児童福祉の増進施策をいかに着実に図るかが喫緊の課題となっている。
	今後の施策の運営方針
概ね順調	児童の大幅減少と新たな生活様式における子育て世代のニーズに合わせた、保育等施設(公立7・私立8)の新たな再編と運営方針を打ち出すべく、保育環境整備と保育士等の次代体制の在り方について、これまでの大人社会からこども基本法のこども真ん中社会実現に向けた地に足を付けた現場起点の施策について市として覚悟を持って取り組むことが肝要である。

※ A：順調 B：概ね順調 C：一部に努力を要する D：全体的に努力を要する

構成する事務事業の評価

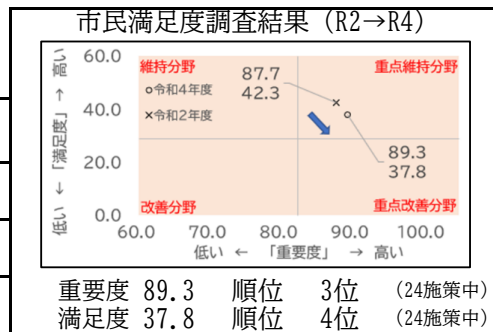
整理番号	重要	事業番号	事務事業名	担当課	本年度 予算額 (千円)	本年度 決算額 (千円)	外部 評価	最終 判断
221		2055	出産・子育て応援交付金事業	健康増進課	28,023	21,354		継続
235		6260	婚活事業	子育て支援課	696	648	○	重点化
236		1500	放課後児童健全育成事業	子育て支援課	95,504	94,000		継続
237		1530	児童扶養手当給付事業	子育て支援課	137,443	130,594		継続
238		1540	地域組織活動育成事業	子育て支援課	423	409		継続
239		1550	子ども総合センター事業	子育て支援課	15,513	14,479		継続
240		1555	助産施設入所事業	子育て支援課	2,780	2,582		継続
241		1565	母子生活支援施設入所事業	子育て支援課	1,273	6		継続
243	○	1570	児童手当給付事業	子育て支援課	506,495	504,953		継続
244		1770	母子父子自立支援事業	子育て支援課	5,480	4,425	○	継続
245		1850	児童館運営事業	子育て支援課	11,406	10,939		継続
246		1855	児童センター運営事業	子育て支援課	23,369	22,059		継続
248		4701	放課後子ども教室運営事業	子育て支援課	935	848		休廃止
251		1520	病児・病後児保育事業	子育て支援課	9,747	5,680		継続
252		1541	こんにちは赤ちゃん事業	子育て支援課	477	292		継続
254		1561	子ども・子育て支援事業	子育て支援課	8,758	7,139		継続
257		1750	私立児童運営事業	子育て支援課	4,117	4,055		継続
258		4580	施設等利用給付事業	子育て支援課	14,643	12,640		継続
262		1590	子育て支援センター事業	子育て支援課	9,273	9,273		継続
263		1591	ファミリーサポートセンター事業	子育て支援課	3,160	3,160		継続
264		1620	おおひら保育所運営事業	子育て支援課	14,122	12,923		継続
265		1630	なかむら保育所運営事業	子育て支援課	22,764	18,218		継続
266		1650	ぐんちゅう保育所運営事業	子育て支援課	35,830	28,714		継続
267		1680	うへの保育所運営事業	子育て支援課	24,554	21,684		継続
268		1691	中山認定こども園運営事業	子育て支援課	15,904	14,329		継続
269		1710	上灘保育所運営事業	子育て支援課	14,442	13,172		継続
270		1720	下灘保育所運営事業	子育て支援課	13,322	12,075		継続
271	○	1760	施設型給付・地域型保育給付事業	子育て支援課	812,660	784,788		継続
531		4704	家庭教育・子育てサポート事業	社会教育課	605	432		継続
546		4690	青少年センター運営事業	社会教育課	1,632	1,134		継続

※ 構成する事務事業は、評価対象事業のみを掲載  
 施策の推進に当たり、市が重要と判断した事業に「○」を表示  
 外部評価対象事業に「○」が付いた事業は、令和5年度の行政評価委員会にて審議  
 最終判断は経営者会議で決定した事業の方向性を表示

# 令和4年度 施策評価シート

## 基本情報

基本目標	2 健康福祉都市の創造
基本施策	② 生涯にわたる健康づくり
所管部	総務部、市民福祉部
所管課・関係課	税務課、健康増進課、市民課



施策の目標 市民のライフスタイルに合わせた健康的な生活習慣を確立し、いつまでも元気で生き生きと過ごせる環境づくりを推進します

現状と課題  
 ※第2次伊予市総合計画後期基本計画(令和3年3月策定)より転記  
 本市では、中学生までの医療費を助成する制度や重度心身障がい者等に対する医療費助成制度、国民健康保険、後期高齢者医療制度などにより、市民の医療を支えています。また、伊予市健康づくり・食育推進計画に基づき、健康寿命の延伸と食育の推進を目標に、市民みんなで作る健康のまちを目指しています。しかし、本市の特定健診やがん検診は受診率が低いことから、健康寿命の延伸に重要となる病気の早期発見・早期治療、重症化予防対策に結びつけにくい状況にあります。また、ジェネリック医薬品(後発医薬品)の利用者が少なく、医療費の増大につながっています。そのため、市民一人ひとりが健康意識を持ち、主体的に健康づくりに取り組めるよう、地域や関係機関とより一層の連携を図っていく必要があります。

関連するSDGsのゴール

<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール1 貧困をなくそう	<input type="checkbox"/>	ゴール10 人や国の不平等をなくそう
<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール2 飢餓をゼロに	<input type="checkbox"/>	ゴール11 住み続けられるまちづくりを
<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール3 すべての人に健康と福祉を	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール12 つくる責任つかう責任
<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール4 質の高い教育をみんなに	<input type="checkbox"/>	ゴール13 気候変動に具体的な対策を
<input type="checkbox"/>	ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	<input type="checkbox"/>	ゴール14 海の豊かさを守ろう
<input type="checkbox"/>	ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	<input type="checkbox"/>	ゴール15 陸の豊かさを守ろう
<input type="checkbox"/>	ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	<input type="checkbox"/>	ゴール16 平和と公正をすべての人に
<input type="checkbox"/>	ゴール8 働きがいも経済成長も	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール17 パートナリシップで目標を達成しよう
<input type="checkbox"/>	ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう		

## 重要業績評価指標の基準値と本年度の評価

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値	下段=実績値、上段=目標値					評価
			R3	R4	R5	R6	R7	
1歳6か月児・3歳児健診の受診率を増やします(1歳6か月児/3歳児)	%	95.4/95.7	97.0/97.0	97.5/97.5			100/100	やや遅れ
3歳児健診での肥満児(+15%以上)の割合を減らします	%	4.0	3.9	3.9			3.8	順調
特定健診の受診率を増やします	%	33.4	35.0	40.0			60.0	やや遅れ
特定保健指導の実施率を維持します	%	70.5	70.0	70.0			70以上	やや遅れ
国民健康保険におけるジェネリック医薬品の使用割合を増やします	%	73.5	75.0	75.0			80.0	順調

## 重要業績評価指標の分析

重要業績評価指標 (KPI)	方針	重点化・再検討に当たっての留意事項	本年度の振り返り(成果・課題など)
1歳6か月児・3歳児健診の受診率を増やします(1歳6か月児/3歳児)	重点化	切れ目の無い伴走型支援に取り組むべく、更なる受診率向上を目指す。	関係機関と連携し保護者への受診勧奨を継続し、特に3歳児未受診者については更なる支援を行う。
3歳児健診での肥満児(+15%以上)の割合を減らします	重点化	切れ目の無い伴走型支援に取り組むべく、一歩踏み込んだ親子への関わりを目指す。	家族全体への保健指導や栄養指導等が効果を挙げ、指標の向上が見られた。
特定健診の受診率を増やします	再検討	受診勧奨方法や健診メニューを見直し、受診率向上に向けた再検討に取り組む。	勧奨ハガキや県下統一のTVCM導入、待ち時間の縮減に努める等の結果、指標の向上が見られた。
特定保健指導の実施率を維持します	現状		訪問、面談、電話相談、栄養相談等できる限りの個別対応に努め、更に継続した重症化予防を図る。
国民健康保険におけるジェネリック医薬品の使用割合を増やします	現状		同医薬品の使用割合は、年々、増加傾向にある。医療費の適正化に向けて更なる啓発に努めたい。

※ 重点化 : 関連事業に重きをおく。  
 現状 : 現行の事業運営とする。  
 再検討 : 関連事業の縮小、廃止、又は見直しを検討する。

施策の総合評価

総合評価	施策の抱える課題
C	「食で育み、愛を奏でる、ふるさと伊予市」が基本理念の第2次伊予市健康づくり・食育推進計画では生活習慣病の発症予防・重症化予防の徹底を図るとともに、市民一人ひとりが主体的に社会参加しながら支え合い、地域や人とのつながり、関係機関等との連携を深めることにより、健康寿命の更なる延伸を目指しており、ポストコロナでは元通りに復すだけでなく、新たなライフスタイルに沿った新たな取組が今求められている。
一部に努力を要する	<p>今後の施策の運営方針</p> <p>既定路線の事業展開や目の前の対処療法では健康診査等の立て直しは不可能に近いと見られ、保健事業と介護予防の一体的実施等を始めとした横展開の事業にも果敢に取り組み、本市の自然資源や技術の活用で広く医師会との横連携により、魅力的な健診項目の追加で受診動機に繋がれるよう間口を広げ、訪問実績につながるようコミュニケーション回復に努める。</p>

※ A：順調 B：概ね順調 C：一部に努力を要する D：全体的に努力を要する

構成する事務事業の評価

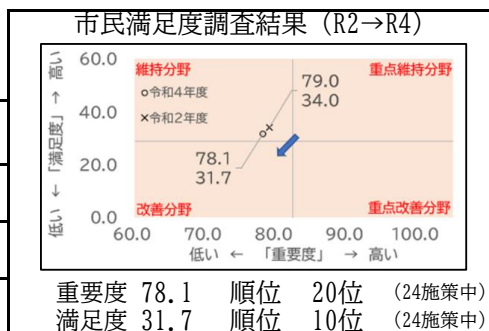
整理番号	重要	事業番号	事務事業名	担当課	本年度予算額(千円)	本年度決算額(千円)	外部評価	最終判断
33	○	7011	(国保)国保税徴収事務	税務課	907	447		継続
126		7405	(国保)歯科診療所施設一般管理事務	市民課	12,329	11,724		継続
129		7020	(国保)運営協議会事業	市民課	250	131		継続
150		7136-1	(国保)保健衛生普及事業	市民課	5,800	5,030		継続
157		1110	重度心身障害者医療費助成事業	市民課	156,000	140,792		継続
159		1810	ひとり親家庭医療費助成事業	市民課	30,800	25,169		継続
163		7805	(後期高齢)徴収事務	市民課	991	707		継続
168		6230-1	後期高齢者保健事業	市民課	7,072	7,979		継続
170	○	1830	子ども医療費助成事業	市民課	138,000	127,241		継続
219		2100	予防接種事業	健康増進課	153,362	101,337		継続
220		2110	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	健康増進課	282,079	243,980	○	重点化
222		2041	健康増進事業	健康増進課	35,567	32,790		継続
224		7134	(国保)特定健康診査等事業	健康増進課	0	0		継続
225	○	2005	救急医療対策事業	健康増進課	24,907	24,736		継続
226		1990	精神保健事業	健康増進課	89	61		継続
227		1991	自殺対策事業	健康増進課	378	338		継続
228		2120	伊予保健センター管理運営事業	健康増進課	13,958	13,471		継続
230		2050	母子保健事業	健康増進課	28,592	24,341		継続
231	○	6232	保健事業と介護予防の一体的実施事業	健康増進課	809	568		継続
232		2245	歯科保健センター運営事業	健康増進課	2,039	1,513		継続
233		2000	健康づくり・食育推進計画事業	健康増進課	71	49		継続
234		2080	食育推進事業	健康増進課	484	294		継続

※ 構成する事務事業は、評価対象事業のみを掲載  
 施策の推進に当たり、市が重要と判断した事業に「○」を表示  
 外部評価対象事業に「○」が付いた事業は、令和5年度の行政評価委員会にて審議  
 最終判断は経営者会議で決定した事業の方向性を表示

# 令和4年度 施策評価シート

## 基本情報

基本目標	2 健康福祉都市の創造
基本施策	③ 健やかで生きがいの持てる高齢者福祉の実践
所管部	市民福祉部
所管課・関係課	長寿介護課



施策の目標 高齢者が活躍できる地域社会づくりを目指します

現状と課題  
 ※第2次伊予市総合計画後期基本計画(令和3年3月策定)より転記  
 本市の高齢化率(総人口における65歳以上の割合)は33.5%(令和2年度)であり、今後も上昇すると予測されています。要支援・要介護認定者数も増加傾向にあり、介護保険給付費も年々増大するものと見られます。こうした中、要支援・要介護認定者への適切なサービス提供はもとより、誰もが住み慣れたまちで、要介護状態にならないよう取り組む必要があります。また、高齢者向けの活動やサービス、世代間の交流などを支援し、社会参加への意欲を助長し、健康で生きがいをもって生活できる社会づくりが求められています。

関連するSDGsのゴール

<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール1 貧困をなくそう	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール10 人や国の不平等をなくそう
<input type="checkbox"/>	ゴール2 飢餓をゼロに	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール11 住み続けられるまちづくりを
<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール3 すべての人に健康と福祉を	<input type="checkbox"/>	ゴール12 つくる責任つかう責任
<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール4 質の高い教育をみんなに	<input type="checkbox"/>	ゴール13 気候変動に具体的な対策を
<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	<input type="checkbox"/>	ゴール14 海の豊かさを守ろう
<input type="checkbox"/>	ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	<input type="checkbox"/>	ゴール15 陸の豊かさを守ろう
<input type="checkbox"/>	ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール16 平和と公正をすべての人に
<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール8 働きがいも経済成長も	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール17 パートナリシップで目標を達成しよう
<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう		

## 重要業績評価指標の基準値と本年度の評価

…最終年度目標を達成したものの

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値	下段=実績値、上段=目標値					評価
			R3	R4	R5	R6	R7	
介護予防教室参加者数を増やします	人/年	2,000	2,100	2,100			2,500	順調
生きがい活動センター利用者数を増やします。	人/日	-	140	140			140	順調
認知症サポーター数を増やします(累計)	人	2,300	2,400	2,600			2,700	順調
介護保険サービス事業所数を維持します	事業所数	70	71	70			73	順調

## 重要業績評価指標の分析

重要業績評価指標 (KPI)	方針	重点化・再検討に当たっての留意事項	本年度の振り返り(成果・課題など)
介護予防教室参加者数を増やします	現状		新規に考案した口腔体操や脳トレ体操を教室等で実技指導するなどして普及啓発に努めた。
生きがい活動センター利用者数を増やします。	再検討	第8期介護保険事業計画最終年度に向けた利用改善に取り組む。	徹底した感染予防対策の下、コロナ禍でも安心して利用できる空間づくりを工夫し利用者増加に努めた。
認知症サポーター数を増やします(累計)	現状		幅広い養成講座の開催やチームオレンジの活動支援により、地域の認知症への正しい理解を促した。
介護保険サービス事業所数を維持します	再検討	サービス事業所の適時適性利用を基本に、効率経営に向けた検討を進める。	第8期計画に基づき施設を整備し必要な事業量を確保することで適正な介護サービスを維持できた。

※ 重点化 : 関連事業に重きをおく。  
 現状 : 現行の事業運営とする。  
 再検討 : 関連事業の縮小、廃止、又は見直しを検討する。

施策の総合評価

B	<p><b>総合評価</b></p> <p><b>施策の抱える課題</b></p> <p>5年前と比較して市民の平均年齢は1.45歳上がり50.33歳、65歳以上の割合は2.1ポイント上昇し34.8%で高齢化が急速に進行している。新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行の中、75歳以上が対象（7,181人）の敬老会では4年ぶりの対面開催で盛会となった地区、また一方で昨年引き続き記念品配布とした地区もあり、感染対策としてのマスク着用など新たな生活様式が浸透し、開催の是非が問われると同時に一部事業の在り方自体も問われている。</p> <p><b>今後の施策の運営方針</b></p> <p>顕著な人口減少のなか、2025年や2040年問題と言われる各種の高齢化ピークを見据え、住み慣れた地域で心身ともに介護を必要としない状態を維持する等の介護予防に注力するとともに、健康増進・後期医療保険など関係課と連携強化し、家族を始め介護関係者を通じ高齢者福祉の増進に向けた取組を深化させていく。</p>
概ね順調	

※ A：順調 B：概ね順調 C：一部に努力を要する D：全体的に努力を要する

構成する事務事業の評価

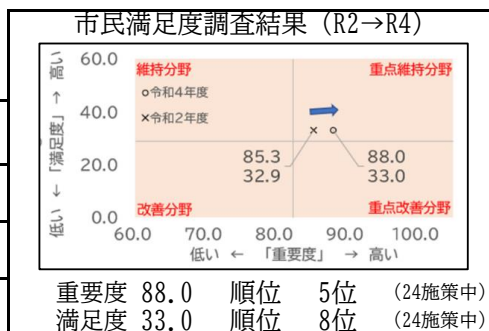
整理番号	重要	事業番号	事務事業名	担当課	本年度 予算額 (千円)	本年度 決算額 (千円)	外部 評価	最終 判断
174		8005	(介保)介護保険料賦課徴収事務	長寿介護課	2,872	2,526		継続
175		8095	(介保)介護保険認定事務	長寿介護課	25,707	22,544		継続
176		1346	疾病予防対策事業	長寿介護課	1,800	2,152		継続
177		1290	養護老人ホーム入所措置事業	長寿介護課	69,845	66,772		継続
178		1300	シルバー人材センター事業	長寿介護課	8,850	8,850		継続
180		1361	老人憩の家運営事業	長寿介護課	1,240	1,140		継続
181		1364	三世交流拠点施設運営事業	長寿介護課	5,758	5,437		継続
182		1365	生きがい活動センター運営事業	長寿介護課	12,334	6,031		継続
183		1480	全国健康福祉祭推進事業	長寿介護課	3,547	3,274		継続
185		8120	(介保)権利擁護事業	長寿介護課	111	78		継続
188		8140	(介保)在宅医療・介護連携推進事業	長寿介護課	184	112		継続
189		8145	(介保)生活支援体制整備事業	長寿介護課	208	86		継続
194		8170	(介保)一般介護予防事業	長寿介護課	23,187	21,317		継続
195		8115	(介保)総合相談事業	長寿介護課	3,410	3,096		継続
196		8130-2	(介保)高齢者配食サービス事業	長寿介護課	4,219	4,219		継続
197		8130-3	(介保)家族介護教室実施事業	長寿介護課	540	60		継続
199	○	8150	(介保)認知症総合支援事業	長寿介護課	314	52		継続
201		8010	(介保)介護保険認定審査会事業	長寿介護課	15,770	13,620		継続
202		1270	敬老事業	長寿介護課	10,668	8,144		継続
203		1310	老人クラブ育成事業	長寿介護課	3,677	3,239		継続
204		1330-1	高齢者見守り員設置事業	長寿介護課	9,151	9,151		継続
205		1330-2	緊急通報体制等整備事業	長寿介護課	5,269	3,477		継続
206		8000	(介保)介護保険一般管理事務	長寿介護課	228,096	227,401		継続
213		1450	低所得者対策事業	長寿介護課	31	26		継続
214		1460	高額介護サービス費貸付事業	長寿介護課	60	0		継続
216		8130-1	(介保)住宅改修支援事業	長寿介護課	30	8		継続

※ 構成する事務事業は、評価対象事業のみを掲載  
 施策の推進に当たり、市が重要と判断した事業に「○」を表示  
 外部評価対象事業に「○」が付いた事業は、令和5年度の行政評価委員会にて審議  
 最終判断は経営者会議で決定した事業の方向性を表示

# 令和4年度 施策評価シート

## 基本情報

基本目標	2 健康福祉都市の創造
基本施策	④ 心の通った社会福祉の推進
所管部	市民福祉部
所管課・関係課	福祉課



施策の目標 一人ひとりの住民が、その人らしく安心して生き生きと暮らせる幸せのまちづくりを目指します

現状と課題  
 ※第2次伊予市総合計画後期基本計画(令和3年3月策定)より転記  
 少子高齢化による人口減少や核家族化が進行し、一人暮らしの高齢者や障がい者、また高齢者のみの世帯など、地域で孤立する家庭が増加しています。市では、世帯で抱えているいろいろな問題を解決するため、様々な関係機関と連携して解決を目指す福祉まるごと相談窓口を設置しています。誰もが安心して暮らしていくために、自宅生活を支援する福祉サービスの担い手の確保や地域のつながりの強化が必要となっています。

関連するSDGsのゴール	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール1 貧困をなくそう	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール10 人や国の不平等をなくそう
	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール2 飢餓をゼロに	<input type="checkbox"/>	ゴール11 住み続けられるまちづくりを
	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール3 すべての人に健康と福祉を	<input type="checkbox"/>	ゴール12 つくる責任つかう責任
	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール4 質の高い教育をみんなに	<input type="checkbox"/>	ゴール13 気候変動に具体的な対策を
	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	<input type="checkbox"/>	ゴール14 海の豊かさを守ろう
	<input type="checkbox"/>	ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	<input type="checkbox"/>	ゴール15 陸の豊かさを守ろう
	<input type="checkbox"/>	ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	<input type="checkbox"/>	ゴール16 平和と公正をすべての人に
	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール8 働きがいも経済成長も	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール17 パートナリシップで目標を達成しよう
	<input type="checkbox"/>	ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう		

## 重要業績評価指標の基準値と本年度の評価

…最終年度目標を達成したものの

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値	下段=実績値、上段=目標値					評価
			R3	R4	R5	R6	R7	
継続支援につなげる件数を増やします	件/年	13	15	15			15	概ね順調
		令和2年度	11	6				
地域福祉活動の集まりの回数を増やします	回/年	9	10	12			16	順調
		令和2年度	7	13				
障がい者からの相談件数を増やします(一般相談)	件/年	1,277	1,300	1,500			1,300	順調
		令和元年度	1,752	1,608				

## 重要業績評価指標の分析

重要業績評価指標 (KPI)	方針	重点化・再検討に当たっての留意事項	本年度の振り返り(成果・課題など)
継続支援につなげる件数を増やします	現状		全体的な相談件数が減少し、継続支援につなげる件数も減少している。アウトリーチ機能の充実を図り、潜在化しているニーズを拾っていく必要がある。
地域福祉活動の集まりの回数を増やします	重点化	第4期伊予市地域福祉計画・地域福祉活動計画の始期に当たり、新たな推進に取り組む。	感染状況を踏まえながら、地域活動の集まりを実施することができた。
障がい者からの相談件数を増やします(一般相談)	現状		精神障害者からの相談件数が増えており、支援の専門性が求められることから、相談支援専門員の資質向上を図る。

※ 重点化 : 関連事業に重きをおく。  
 現状 : 現行の事業運営とする。  
 再検討 : 関連事業の縮小、廃止、又は見直しを検討する。

施策の総合評価

総合評価	施策の抱える課題
B	<p>人々が安心して暮らせるよう住民や福祉関係者がお互いに協力して地域社会の福祉課題の解決を目指す状況のなか、国では制度分野毎の縦割りや支える側・支えられる側という従来の関係を超えて、地域共生社会の実現を目指し包括的な支援体制の構築を推進する事としている。特に、制度の狭間への対応については新たな対応が求められている。</p>
	今後の施策の運営方針
概ね順調	<p>地域共生社会の実現を目指し、福祉まるごと相談窓口から重層的支援体制への整備に向けた取り組みのなかで、引き続き、ダブルケアや8050問題の内容を上回った盤根錯節な事案の増加が予想される。この対応には社会福祉士を始め、医療・介護・心理等様々な専門資格を有する専門集団の体制構築が急務であり、まずは自助・互助・共助・公助を相互に調整・融合できる実情に沿った地域づくりを目指す。</p>

※ A：順調 B：概ね順調 C：一部に努力を要する D：全体的に努力を要する

構成する事務事業の評価

整理番号	重要	事業番号	事務事業名	担当課	本年度 予算額 (千円)	本年度 決算額 (千円)	外部 評価	最終 判断
72		6010	障害者団体育成事業	福祉課	250	220		継続
73		6030	障害者(児)タクシー利用助成事業	福祉課	4,585	3,712		継続
74		6035	難聴児補聴器購入助成事業	福祉課	393	0		継続
76		6061	障害者福祉計画事業	福祉課	123	63		継続
77		6063	障害者等疾病予防対策事業	福祉課	360	172		継続
79	○	6110	相談支援事業	福祉課	14,737	14,737		継続
80		6120	障害者自立支援協議会運営事業	福祉課	32	21		継続
81		6195	障害者地域づくり推進事業	福祉課	215	33		継続
83		6212	巡回相談員事業	福祉課	2,693	2,320		継続
84		6235	障害児通所給付事業	福祉課	249,867	227,577		継続
85		860	人権擁護委員事業	福祉課	626	269		継続
86	○	893	地域福祉計画事業	福祉課	1,384	782		継続
87	○	894	生活困窮者自立支援事業	福祉課	15,773	15,555		継続
88		895	包括的支援体制構築事業	福祉課	130	41		継続
101		6130	意思疎通支援事業	福祉課	3,293	3,096		継続
106		6190	自動車改造・免許取得助成事業	福祉課	300	200		継続
107		6210	声の広報発行事業	福祉課	100	100		継続
109		830	民生児童委員事業	福祉課	20,870	19,147		継続
110		840	社会福祉協議会事業	福祉課	31,620	29,520		継続
111		850	保護司会事業	福祉課	939	891		継続
112		870	更生保護事業	福祉課	358	343		継続
113		890	遺族会戦没者等援護事業	福祉課	1,552	1,288		継続
114		891	ボランティアセンター運営事業	福祉課	4,669	3,951		継続
115		1160	人権対策事業	福祉課	8,841	8,720		継続
116		1190	隣保館管理運営事業	福祉課	9,759	8,930		継続
118		3890	住宅新築資金等償還推進事業	福祉課	13	4		継続
120		1880	生活保護適正実施事業	福祉課	910	465		継続
121		1885	被保護者就労支援事業	福祉課	2,453	2,329		継続

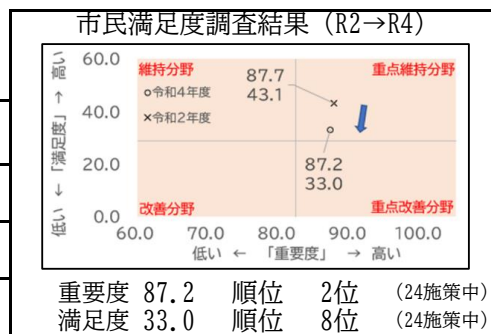
※ 構成する事務事業は、評価対象事業のみを掲載  
 施策の推進に当たり、市が重要と判断した事業に「○」を表示  
 外部評価対象事業に「○」が付いた事業は、令和5年度の行政評価委員会にて審議  
 最終判断は経営者会議で決定した事業の方向性を表示



# 令和4年度 施策評価シート

## 基本情報

基本目標	3 生涯学習都市の創造
基本施策	① 学校教育環境の整備・充実
所管部	教育委員会事務局
所管課・関係課	学校教育課



施策の目標 子どもを愛し、育て、将来子どもが帰ってくるまちを目指します

現状と課題  
 ※第2次伊予市総合計画後期基本計画(令和3年3月策定)より転記  
 市内には、市立幼稚園2園、小学校9校、中学校4校があります。児童生徒数に大きな差が生じるとともに、近年、児童生徒の学びの意欲や学力・体力の二極化が進展しています。そのような状況下において、公平で質の高い学習の提供、またふるさとを愛する心を育んでいかなければなりません。全国的にも積極的なICTの活用が求められる中、ICT機器の導入やプログラミング教育や情報教育といった教育環境の整備に努める必要があります。また、安全・安心な学校給食を提供することで、児童生徒の健全な体の発達に寄与することも必要です。

関連するSDGsのゴール	<input type="checkbox"/>	ゴール1 貧困をなくそう	<input type="checkbox"/>	ゴール10 人や国の不平等をなくそう
	<input type="checkbox"/>	ゴール2 飢餓をゼロに	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール11 住み続けられるまちづくりを
	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール3 すべての人に健康と福祉を	<input type="checkbox"/>	ゴール12 つくる責任つかう責任
	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール4 質の高い教育をみんなに	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール13 気候変動に具体的な対策を
	<input type="checkbox"/>	ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	<input type="checkbox"/>	ゴール14 海の豊かさを守ろう
	<input type="checkbox"/>	ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	<input type="checkbox"/>	ゴール15 陸の豊かさを守ろう
	<input type="checkbox"/>	ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	<input type="checkbox"/>	ゴール16 平和と公正をすべての人に
	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール8 働きがいも経済成長も	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール17 パートナリシップで目標を達成しよう
	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう		

## 重要業績評価指標の基準値と本年度の評価

…最終年度目標を達成したものの

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値	下段=実績値、上段=目標値					評価
			R3	R4	R5	R6	R7	
全国学力・学習状況調査結果の向上を目指します(小学校)	ポイント	県平均正答率より-1.0	-0.50	-0.20			+1.0	順調
全国学力・学習状況調査結果の向上を目指します(中学校)	ポイント	県平均正答率より+1.3	+1.50	+1.60			+2.00	順調
全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の向上を目指します(小学校)	点	県平均点より-1.225	-0.50	-0.20			+1.00	順調
全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の向上を目指します(中学校)	点	県平均点より+1.810	+1.90	+1.95			+2.00	概ね順調
伊予市産の食材の学校給食への使用率の向上を図ります	%	23.9	25.0	26.0			30.0	順調
		令和元年度	25.9	33.9				

## 重要業績評価指標の分析

重要業績評価指標 (KPI)	方針	重点化・再検討に当たっての留意事項	本年度の振り返り(成果・課題など)
全国学力・学習状況調査結果の向上を目指します(小学校)	現状		目標に到達していることから、今後もICTを活用した学習指導の充実と家庭との連携強化に取り組む。
全国学力・学習状況調査結果の向上を目指します(中学校)	現状		目標を大幅に達成しており、引き続きICTを活用した学習指導の充実と家庭との連携を継続する。
全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の向上を目指します(小学校)	現状		経過目標を達成しているものの、今後の目標が平均値を超えてくるため、引き続き体力の向上をめざす。
全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の向上を目指します(中学校)	現状		経過目標のため、数値が微増しても実績値が下がることを踏まえて、引き続き体力の向上をめざす。
伊予市産の食材の学校給食への使用率の向上を図ります	現状		地元産品に拘り過ぎても安定供給や価格に不安が生じるため、バランスを取りながら推進する。

※ 重点化 : 関連事業に重きをおく。  
 現状 : 現行の事業運営とする。  
 再検討 : 関連事業の縮小、廃止、又は見直しを検討する。

施策の総合評価

総合評価	施策の抱える課題
B	<p>昨年度に比して、今年度における学力と体力の評価は、経過目標を達成しているものの、毎年度対象となる児童生徒が異なるため、経過目標を達成しているからと言って一喜一憂せず、3年後の到達目標をしっかりと見据えて、全学年の児童生徒の底上げが図られるよう、意識して取り組む必要がある。</p> <p>学校給食における地産地消は、食育向上の面からも幅広い食材を対象に推進する。</p>
概ね順調	今後の施策の運営方針
	<p>学校における働き方改革を推進しながら、児童生徒の学力や体力を向上させるには、ICTの有効活用が必須となる。愛媛県では「第4期学力向上推進3か年計画」が策定され、本市としても教職員の資質・能力の育成に資する授業改善に視点を当て、伝統のある教育と適切なICT活用のベストミックスを図り、教育の質の保証と向上をめざす。</p> <p>地産地消については、単に高比率を目指さず、目標値を理想として取り組む。</p>

※ A：順調 B：概ね順調 C：一部に努力を要する D：全体的に努力を要する

構成する事務事業の評価

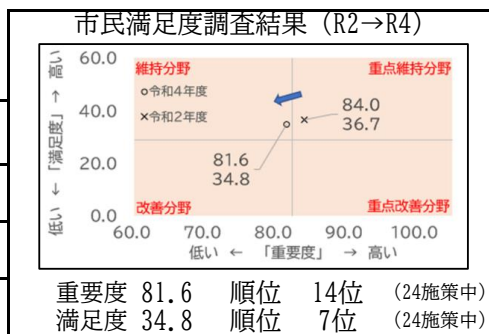
整理番号	重要	事業番号	事務事業名	担当課	本年度 予算額 (千円)	本年度 決算額 (千円)	外部 評価	最終 判断
489	○	5212	学校給食センター運営事業	学校教育課	174,935	156,968	○	重点化
490		4050	教育委員会運営事業	学校教育課	2,561	2,405		継続
492		4105	適応指導教室事業	学校教育課	6,643	6,450		継続
493		4106	特別支援教育事業	学校教育課	13,879	12,004		継続
494		4150	学校安全対策事業	学校教育課	1,113	988		重点化
495		4250	小学校運営事業	学校教育課	155,076	146,314		継続
496		4315	小学校教育推進事業	学校教育課	8,462	7,918		継続
498		4321	小学校理科教育設備整備事業	学校教育課	1,845	1,795		継続
499		4410	中学校運営事業	学校教育課	72,052	68,070		継続
500		4475	中学校教育推進事業	学校教育課	6,974	5,755		継続
502		4481	中学校理科教育設備整備事業	学校教育課	447	433		継続
503		4570	幼稚園運営事業	学校教育課	19,022	15,516		継続
504		4930	児童生徒健康診断事業	学校教育課	15,983	14,205		継続
505		4940	学校体育大会運営事業	学校教育課	4,913	2,885		継続
506		4980	結核対策委員会事業	学校教育課	143	135		継続
507	○	4990	保健体育総務一般事務	学校教育課	16,753	15,120		継続
508	○	4991	学校再開に伴う感染症対策・学習保障等支援事業	学校教育課	12,087	10,223		継続
509		4110	ALT派遣事業	学校教育課	27,742	24,506		継続
510		4170	教員住宅管理運営事業	学校教育課	532	401		継続
511		4310	小学校児童扶助事業	学校教育課	21,669	19,118		継続
512		4470	中学校生徒扶助事業	学校教育課	20,913	18,092		継続
514		4090	通学バス運行事業	学校教育課	44,314	41,565		継続
516		4341	小学校GIGAスクール運営事業	学校教育課	23,464	23,266		継続
517	○	4350	学校施設長寿命化改良事業	学校教育課	9,900	9,472		継続
518		4500	中学校GIGAスクール運営事業	学校教育課	9,073	8,996		継続
519		4230	小学校修繕事業	学校教育課	6,282	6,017		継続
520		4240	小学校営繕事業	学校教育課	31,951	31,859		継続
521		4390	中学校修繕事業	学校教育課	4,741	3,989		継続
522		4400	中学校営繕事業	学校教育課	4,839	4,594		継続
523		4550	幼稚園修繕事業	学校教育課	404	345		継続
524		4290	小学校パソコン教室運営事業	学校教育課	9,280	9,279	○	休廃止
526		4450	中学校パソコン教室運営事業	学校教育課	4,283	4,246	○	継続

※ 構成する事務事業は、評価対象事業のみを掲載  
 施策の推進に当たり、市が重要と判断した事業に「○」を表示  
 外部評価対象事業に「○」が付いた事業は、令和5年度の行政評価委員会にて審議  
 最終判断は経営者会議で決定した事業の方向性を表示

# 令和4年度 施策評価シート

## 基本情報

基本目標	3 生涯学習都市の創造
基本施策	② 誰もが平等な社会づくり
所管部	教育委員会事務局
所管課・関係課	社会教育課



施策の目標 全ての市民の人権が尊重される地域社会を実現します

現状と課題  
 ※第2次伊予市総合計画後期基本計画(令和3年3月策定)より転記  
 本市では、人権三法(部落差別の解消の推進に関する法律、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律、本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律)等の趣旨を踏まえ、多様化する人権問題に対応するため、令和2年3月に「伊予市人権を尊重する社会づくり条例」を改正して、人権に関する諸施策を講じています。  
 しかしながら、依然として人権問題は存在しており、直近では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、感染者のみならず関係者への差別問題の発生が懸念されます。

関連するSDGsのゴール

<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール1 貧困をなくそう	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール10 人や国の不平等をなくそう
<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール2 飢餓をゼロに	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール11 住み続けられるまちづくりを
<input type="checkbox"/>	ゴール3 すべての人に健康と福祉を	<input type="checkbox"/>	ゴール12 つくる責任つかう責任
<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール4 質の高い教育をみんなに	<input type="checkbox"/>	ゴール13 気候変動に具体的な対策を
<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	<input type="checkbox"/>	ゴール14 海の豊かさを守ろう
<input type="checkbox"/>	ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	<input type="checkbox"/>	ゴール15 陸の豊かさを守ろう
<input type="checkbox"/>	ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール16 平和と公正をすべての人に
<input type="checkbox"/>	ゴール8 働きがいも経済成長も	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール17 パートナリシップで目標を達成しよう
<input type="checkbox"/>	ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう		

## 重要業績評価指標の基準値と本年度の評価

…最終年度目標を達成したものの

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値	下段=実績値、上段=目標値					評価
			R3	R4	R5	R6	R7	
研修会や講座への参加人数を維持します	人/年	2,880	2,880	1,600				概ね順調
		令和元年度	1,585	1,981				

## 重要業績評価指標の分析

重要業績評価指標 (KPI)	方針	重点化・再検討に当たっての留意事項	本年度の振り返り (成果・課題など)
研修会や講座への参加人数を維持します	現状		いまだコロナ禍の影響があるものの、工夫をしながら事業に取り組み、昨年度以上の成果を上げた。

※ 重点化 : 関連事業に重きをおく。  
 現状 : 現行の事業運営とする。  
 再検討 : 関連事業の縮小、廃止、又は見直しを検討する。

施策の総合評価

総合評価	施策の抱える課題
C	<p>次年度には、全ての人のあらゆる差別からの解放を求めた全国水平社伊予市支部の創立から100年を迎える。以前は見過ごされていた様々なハラスメントが人権問題として認識されるようになったことを考えると、社会生活のあらゆる場面で人権尊重の意識が高まってきたと思われるが、その一方で、インターネット上での人権侵害、性的指向や性自認に対する偏見、新型コロナウイルス感染症による差別など、新たな人権問題が発生している。</p>
一部に努力を要する	今後の施策の運営方針
	<p>今一度、水平社宣言に込められた人々の願いに思いを馳せるとともに、次世代を担う子どもたちのためにも、『全ての人の人権が尊重される心豊かな社会の実現』を目指して、一人ひとりが差別をなくす行動を続けていくことが大切と考え、部落差別に限らず、あらゆる差別の解消に向けて、お互いを思いやり、お互いの人権を尊重しながら、共に生きる社会を築いて行かなければならない。</p>

※ A：順調 B：概ね順調 C：一部に努力を要する D：全体的に努力を要する

構成する事務事業の評価

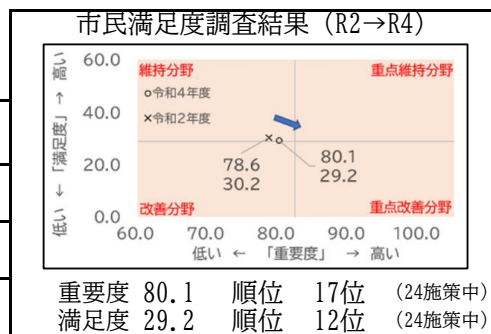
整理番号	重要	事業番号	事務事業名	担当課	本年度 予算額 (千円)	本年度 決算額 (千円)	外部 評価	最終 判断
545		4620	社会教育指導員設置事業	社会教育課	4,750	4,748		継続
548	○	4830	人権同和教育事業	社会教育課	2,347	1,677		継続
549		4840	人権教育団体育成事業	社会教育課	5,100	4,400		継続

※ 構成する事務事業は、評価対象事業のみを掲載  
 施策の推進に当たり、市が重要と判断した事業に「○」を表示  
 外部評価対象事業に「○」が付いた事業は、令和5年度の行政評価委員会にて審議  
 最終判断は経営者会議で決定した事業の方向性を表示

# 令和4年度 施策評価シート

## 基本情報

基本目標	3 生涯学習都市の創造
基本施策	③ 生涯にわたり学習できる環境づくり
所管部	教育委員会事務局
所管課・関係課	学校教育課、社会教育課



施策の目標 地域にあった学びの場を提供し、地域コミュニティの醸成を図ります

現状と課題  
※第2次伊予市総合計画後期基本計画(令和3年3月策定)より転記  
 本市では、地域特性を生かしながら、各地区公民館や図書館を中心に様々な教室や講座、イベントや行事を開催してきました。受講生が固定化している講座が見受けられる一方、市民の興味を引きつける、新しい事業の開発が求められています。まちづくりに主体的に参画しようとする市民の心を育むためには、身近な問題を自分事として捉え、考え、行動するための息の長い取組と、継続的な事業の取組が必要となります。担当職員、講師、受講者の3者の誰もが互いに学び合い、高め合う協働した取組が重要です。

関連するSDGsのゴール	達成状況	ゴール	達成状況
ゴール1 貧困をなくそう	<input type="checkbox"/>	ゴール10 人や国の不平等をなくそう	<input checked="" type="checkbox"/>
ゴール2 飢餓をゼロに	<input type="checkbox"/>	ゴール11 住み続けられるまちづくりを	<input checked="" type="checkbox"/>
ゴール3 すべての人に健康と福祉を	<input type="checkbox"/>	ゴール12 つくる責任つかう責任	<input type="checkbox"/>
ゴール4 質の高い教育をみんなに	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール13 気候変動に具体的な対策を	<input type="checkbox"/>
ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール14 海の豊かさを守ろう	<input type="checkbox"/>
ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	<input type="checkbox"/>	ゴール15 陸の豊かさを守ろう	<input type="checkbox"/>
ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	<input type="checkbox"/>	ゴール16 平和と公正をすべての人に	<input checked="" type="checkbox"/>
ゴール8 働きがいも経済成長も	<input type="checkbox"/>	ゴール17 パートナリーシップで目標を達成しよう	<input checked="" type="checkbox"/>
ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう	<input type="checkbox"/>		

## 重要業績評価指標の基準値と本年度の評価

…最終年度目標を達成したものの

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値	下段=実績値、上段=目標値					評価
			R3	R4	R5	R6	R7	
各種学級・講座を開催します	回/年	48	48	33			48	順調
		令和元年度	23	42				
コミュニティ事業を継続します	回/年	49	49	34			49	遅れている
		令和元年度	14	13				
本の貸出人数を増やします (延べ人数)	人/年	23,611	25,000	30,000			40,000	順調
		令和元年度	39,248	46,066				

## 重要業績評価指標の分析

重要業績評価指標 (KPI)	方針	重点化・再検討に当たっての留意事項	本年度の振り返り (成果・課題など)
各種学級・講座を開催します	現状		いまだコロナ禍の影響があるものの、工夫をしながら事業に取り組み、昨年度以上の成果を上げた。
コミュニティ事業を継続します	現状		コロナ禍の中で制限を設けなければならない事業が多く、結果として実施できた事業が減少した。
本の貸出人数を増やします (延べ人数)	現状		いまだコロナ禍の影響があるものの、読書推進に係るイベント等を実施し、利用者の増加につなげた。

※ 重点化 : 関連事業に重きをおく。  
 現状 : 現行の事業運営とする。  
 再検討 : 関連事業の縮小、廃止、又は見直しを検討する。

施策の総合評価

総合評価	施策の抱える課題
C	昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、年間130日程度の利用を休止せざるを得ない状況であったが、既存の事業内容を見直しながら対応したことで、市民の生きがいづくりや健康増進の場の保持につなげることができた。今年度、一度停滞した事業を盛り上げ直すには、地域に合った学びの場を提供することが重要であるため、より市民目線で実施できる事業は何かを常に考えながら取り組む必要がある。
一部に努力を要する	<p>今後の施策の運営方針</p> <p>社会の変化と時代の要請に対応したカリキュラムを取り入れながら、住民ニーズに見合った学習を推進するとともに、少子高齢化や生活様式の変化により地域の状況も変わるため、特にコミュニティ推進が重要な地域で、イベント等の継続に取り組むこととする。</p> <p>また、図書システムの活用等により業務の充実を図りながら、生涯学習、教養の向上に役立つ資料を収集・提供することで、読書活動の推進・啓発による人材育成の支援に努める。</p>

※ A：順調 B：概ね順調 C：一部に努力を要する D：全体的に努力を要する

構成する事務事業の評価

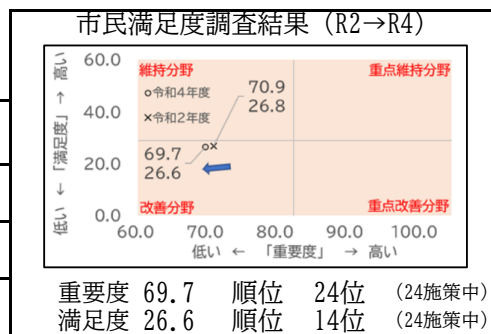
整理番号	重要	事業番号	事務事業名	担当課	本年度予算額(千円)	本年度決算額(千円)	外部評価	最終判断
515		4107	エコフロー事業	学校教育課	0	0	○	休廃止
529	○	4650	生涯学習推進事業	社会教育課	3,447	2,495		継続
533		4750	地区公民館運営活動助成事業	社会教育課	480	353		継続
535		4720	地域公民館活動事業	社会教育課	6,812	2,093		継続
541		4810	図書館運営事業	社会教育課	25,316	24,963		継続

※ 構成する事務事業は、評価対象事業のみを掲載  
 施策の推進に当たり、市が重要と判断した事業に「○」を表示  
 外部評価対象事業に「○」が付いた事業は、令和5年度の行政評価委員会にて審議  
 最終判断は経営者会議で決定した事業の方向性を表示

# 令和4年度 施策評価シート

## 基本情報

基本目標	3 生涯学習都市の創造
基本施策	④ 誰もが親しめるスポーツ・レクリエーションの振興
所管部	教育委員会事務局
所管課・関係課	社会教育課



施策の目標 市民が主体的にスポーツ・レクリエーション活動に取り組める環境の充実と、ICT等の利用促進を図ります

現状と課題  
※第2次伊予市総合計画後期基本計画(令和3年3月策定)より転記  
 生活の合理化による余暇時間の増大、高齢化など、社会環境が変化する中で、生きがいづくりや健康増進、体力の向上など、スポーツの果たす役割はますます大きくなっています。近年では、コンピュータゲームをスポーツ競技として捉えたeスポーツも盛んになっています。一方で、どの世代においても、「スポーツに親しむ人」と「そうでない人」という二極化が進んでいるという指摘もあり、全ての世代で「スポーツをする人」の割合を向上させることが大きな課題となっています。

関連するSDGsのゴール	<input type="checkbox"/>	ゴール1 貧困をなくそう	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール10 人や国の不平等をなくそう
	<input type="checkbox"/>	ゴール2 飢餓をゼロに	<input type="checkbox"/>	ゴール11 住み続けられるまちづくりを
	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール3 すべての人に健康と福祉を	<input type="checkbox"/>	ゴール12 つくる責任つかう責任
	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール4 質の高い教育をみんなに	<input type="checkbox"/>	ゴール13 気候変動に具体的な対策を
	<input type="checkbox"/>	ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	<input type="checkbox"/>	ゴール14 海の豊かさを守ろう
	<input type="checkbox"/>	ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	<input type="checkbox"/>	ゴール15 陸の豊かさを守ろう
	<input type="checkbox"/>	ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	<input type="checkbox"/>	ゴール16 平和と公正をすべての人に
	<input type="checkbox"/>	ゴール8 働きがいも経済成長も	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール17 パートナリシップで目標を達成しよう
	<input type="checkbox"/>	ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう		

## 重要業績評価指標の基準値と本年度の評価

…最終年度目標を達成したものの

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値	下段=実績値、上段=目標値					評価
			R3	R4	R5	R6	R7	
スポーツ協会加盟団体数をなるべく維持します	団体	36	36	33			34	順調
ビーチバレー大会の平均参加人数を増やします	人/回	60	60	70			80	概ね順調
スポーツに関する教室もしくは研修会を開催します	-	実施	1	4			実施	順調

## 重要業績評価指標の分析

重要業績評価指標 (KPI)	方針	重点化・再検討に当たっての留意事項	本年度の振り返り (成果・課題など)
スポーツ協会加盟団体数をなるべく維持します	現状		少子高齢化に加えコロナ禍の影響で、工夫しながら活動するも加盟団体の減少に拍車がかかっている。
ビーチバレー大会の平均参加人数を増やします	現状		コロナの禍中ではあったが、思い切って幅広く周知を行ったことで、参加者数を増やすことができた。
スポーツに関する教室もしくは研修会を開催します	重点化	プロスポーツ支援を通じ、地域振興及びスポーツの普及・促進を図る。	プロスポーツに接する機会の増と地域活性化を目的に、誘致促進のために有効な補助金を検討した。

※ 重点化 : 関連事業に重きをおく。  
 現状 : 現行の事業運営とする。  
 再検討 : 関連事業の縮小、廃止、又は見直しを検討する。

## 施策の総合評価

総合評価	施策の抱える課題
<b>B</b>	<p>新型コロナウイルス感染症対策による制限の多い環境において、生きがいつくりや健康増進、体力の向上など、スポーツの果たす役割が大きくなっていることから、市民が気軽にスポーツ・レクリエーション活動に取り組める環境を整え、市民スポーツの生活化、運動習慣の定着化を促進する必要がある。</p>
	今後の施策の運営方針
概ね順調	<p>子どもから高齢者まで誰もが気軽にスポーツに親しみ、健康を維持し心豊かな生活を営むことができるよう、軽スポーツの体験会を開催するとともに、スポーツ推進員の研修や少年スポーツ団体・競技団体の育成支援を行い、スポーツ活動の活性化を目指す。さらには、本市をビーチバレーの聖地とするため、ビーチバレー大会を開催し、特色を活かしたスポーツの普及を図る。</p>

※ A：順調 B：概ね順調 C：一部に努力を要する D：全体的に努力を要する

## 構成する事務事業の評価

整理番号	重要	事業番号	事務事業名	担当課	本年度 予算額 (千円)	本年度 決算額 (千円)	外部 評価	最終 判断
547	○	4706	プロスポーツ地域振興事業	社会教育課	329	307		継続
552		5010	スポーツ推進委員活動事業	社会教育課	886	883		継続
553	○	5020	社会体育事業運営事業	社会教育課	5,987	5,987		継続
554		5030	社会体育施設管理事業	社会教育課	9,225	5,639		継続
555		5040	体育大会補助事業	社会教育課	785	682		継続
556	○	5050	社会体育団体育成事業	社会教育課	3,643	3,643		継続

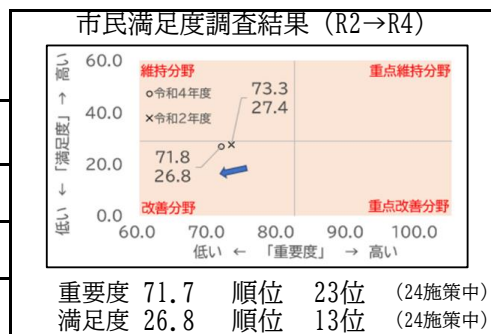
※ 構成する事務事業は、評価対象事業のみを掲載  
 施策の推進に当たり、市が重要と判断した事業に「○」を表示  
 外部評価対象事業に「○」が付いた事業は、令和5年度の行政評価委員会にて審議  
 最終判断は経営者会議で決定した事業の方向性を表示



# 令和4年度 施策評価シート

## 基本情報

基本目標	3 生涯学習都市の創造
基本施策	⑤ 個性豊かな文化の振興
所管部	産業建設部、教育委員会事務局
所管課・関係課	都市整備課、社会教育課



施策の目標 魅力ある文化資源が身近で大切なものとして感じられる環境づくりを進めます

現状と課題  
※第2次伊予市総合計画後期基本計画(令和3年3月策定)より転記  
 本市には、豊かな自然と歴史に育まれた様々な有形・無形の文化財があり、後世に確実に受け継いでいけるよう、随時、その調査や保護に努めています。また、講座や研究会、報告会の開催、企画展示などにより、情報発信を行っています。近年多発する自然災害による文化財の滅失防止や、過疎化、少子高齢化による伝統文化の担い手不足への対応が課題となっています。

関連するSDGsのゴール

<input type="checkbox"/>	ゴール1 貧困をなくそう	<input type="checkbox"/>	ゴール10 人や国の不平等をなくそう
<input type="checkbox"/>	ゴール2 飢餓をゼロに	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール11 住み続けられるまちづくりを
<input type="checkbox"/>	ゴール3 すべての人に健康と福祉を	<input type="checkbox"/>	ゴール12 つくる責任つかう責任
<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール4 質の高い教育をみんなに	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール13 気候変動に具体的な対策を
<input type="checkbox"/>	ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	<input type="checkbox"/>	ゴール14 海の豊かさを守ろう
<input type="checkbox"/>	ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	<input type="checkbox"/>	ゴール15 陸の豊かさを守ろう
<input type="checkbox"/>	ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	<input type="checkbox"/>	ゴール16 平和と公正をすべての人に
<input type="checkbox"/>	ゴール8 働きがいも経済成長も	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール17 パートナリシップで目標を達成しよう
<input type="checkbox"/>	ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう		

## 重要業績評価指標の基準値と本年度の評価

…最終年度目標を達成したものの

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値	下段=実績値、上段=目標値					評価
			R3	R4	R5	R6	R7	
伝統芸能保存団体数を維持します	団体	18	18	18			18	順調
学習会や講座の回数を増やします	回/年	8	8	8			9	やや遅れ
文化団体の発表の機会を増やします	回/年	4	4	4			6	順調
文化財の周知啓発の回数を増やします	回/年	4	4	4			6	概ね順調

## 重要業績評価指標の分析

重要業績評価指標 (KPI)	方針	重点化・再検討に当たっての留意事項	本年度の振り返り (成果・課題など)
伝統芸能保存団体数を維持します	現状		いまだコロナ禍の影響があるものの、工夫をしながら事業に取り組み、昨年度同様の成果を維持した。
学習会や講座の回数を増やします	重点化	令和5年度からの指定管理者制度導入による更なる事業充実について検討を行う。	文化交流センターの指定管理者が決定したことから、事業充実に向けて具体策の検討に入る。
文化団体の発表の機会を増やします	重点化	令和5年度からの指定管理者制度導入による更なる事業充実について検討を行う。	文化交流センターの指定管理者が決定したことから、事業充実に向けて具体策の検討に入る。
文化財の周知啓発の回数を増やします	現状		広報紙や公民館だよりを活用し、文化財の価値や保存の意義を理解するための啓発に取り組んだ。

※ 重点化 : 関連事業に重きをおく。  
 現状 : 現行の事業運営とする。  
 再検討 : 関連事業の縮小、廃止、又は見直しを検討する。

## 施策の総合評価

総合評価	施策の抱える課題
C	魅力ある文化資源が身近で大切なものとして感じられるよう、講座や研究会、報告会の開催や企画展示などにより情報発信を行うとともに、自然災害などから文化財を守るため、関係する機関や地域と連携した訓練を実施しながら、文化財の現状確認や保護に向けた周知啓発にも取り組む必要がある。
	今後の施策の運営方針
一部に努力を要する	地域文化の担い手不足の解消に向け、伝統的な芸術や技術などを体験したり学習したりできる機会を提供しながら、団体・サークル等の支援と育成に努めるとともに、文化財の保護保全のための記録や研究に取り組むことで、市民と協働した展示や情報発信につなげるなどして文化財の活用に努める。

※ A：順調 B：概ね順調 C：一部に努力を要する D：全体的に努力を要する

## 構成する事務事業の評価

整理番号	重要	事業番号	事務事業名	担当課	本年度予算額(千円)	本年度決算額(千円)	外部評価	最終判断
311	○	6900	(都市文化)都市総合文化施設運営事業	都市整備課	85,525	85,101		継続
538	○	4630	文化財保護事業	社会教育課	1,922	1,677		継続
539		4670	社会教育関係団体助成事業	社会教育課	2,604	1,746		継続
540		4703	伊予市内遺跡発掘調査等事業	社会教育課	2,916	2,472		継続
542		4893	文化交流センター事業	社会教育課	4,685	4,431		継続

※ 構成する事務事業は、評価対象事業のみを掲載

施策の推進に当たり、市が重要と判断した事業に「○」を表示

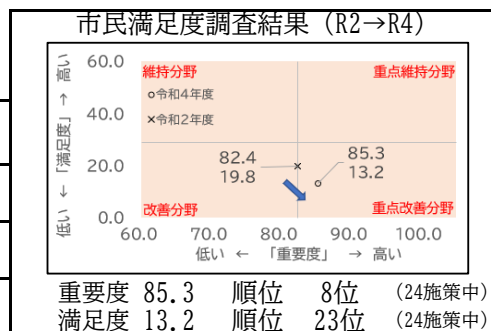
外部評価対象事業に「○」が付いた事業は、令和5年度の行政評価委員会にて審議

最終判断は経営者会議で決定した事業の方向性を表示

# 令和4年度 施策評価シート

## 基本情報

基本目標	4 産業振興都市の創造
基本施策	① 魅力ある農業の振興
所管部	産業建設部
所管課・関係課	農林水産課、農業振興課、農業委員会事務局
施策の目標	適切な農地利用、鳥獣被害防止対策の推進と共に、新規就農者など新たな担い手を確保、育成し、持続可能な農業を推進します



**現状と課題**

※第2次伊予市総合計画後期基本計画(令和3年3月策定)より転記

本市は、瀬戸内式の温暖な気候に恵まれ、平地では水稻や麦、ナス、花きなど、中山間地では温室みかんやびわ、甘平、キウイフルーツ、くりなどが盛んに栽培されています。しかし、高齢化に伴う担い手の減少に伴い、農業生産に必要な農地面積が減少し、さらに農地利用されなくなった土地が有害鳥獣の温床となり、農作物等への被害が拡大する悪循環に繋がっています。また、ため池や農道、水路といった農業用施設の老朽化対策も喫緊の課題となっています。

関連するSDGsのゴール

<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール1 貧困をなくそう	<input type="checkbox"/>	ゴール10 人や国の不平等をなくそう
<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール2 飢餓をゼロに	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール11 住み続けられるまちづくりを
<input type="checkbox"/>	ゴール3 すべての人に健康と福祉を	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール12 つくる責任つかう責任
<input type="checkbox"/>	ゴール4 質の高い教育をみんなに	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール13 気候変動に具体的な対策を
<input type="checkbox"/>	ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	<input type="checkbox"/>	ゴール14 海の豊かさを守ろう
<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール15 陸の豊かさを守ろう
<input type="checkbox"/>	ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	<input type="checkbox"/>	ゴール16 平和と公正をすべての人に
<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール8 働きがいも経済成長も	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール17 パートナリーシップで目標を達成しよう
<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう		

## 重要業績評価指標の基準値と本年度の評価

…最終年度目標を達成したものの

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値	下段=実績値、上段=目標値					評価
			R3	R4	R5	R6	R7	
新規就農者を増やします (累計)	人	28	29	32			40	順調
		令和元年度	34	36				
農作物被害額の増加をなるべく抑制します	千円/年	16,168	16,805	17,334			18,920	順調
		令和元年度	16,276	12,775				
日本型直接支払制度(多面的、中山間、環境保全)に取り組む農地面積を維持します	ha	1,509.0	1,481.4	1476.63			1,389.0	順調
		令和2年度	1512.12	1528.9				
全防災重点ため池のハザードマップを作成します	箇所	16	76	85			98	順調
		令和2年度	16	85				

## 重要業績評価指標の分析

重要業績評価指標 (KPI)	方針	重点化・再検討に当たっての留意事項	本年度の振り返り(成果・課題など)
新規就農者を増やします(累計)	現状		新規就農に係る各種相談、就農後のフォローを実施し、地域の中心的担い手となる新規就農者の確保・育成に努めている。
農作物被害額の増加をなるべく抑制します	重点化	引続き被害防止設備に対する支援や捕獲者の育成支援を実施し、被害の低減に努める。	各関係機関等との連携を密にしながら、自己防衛、有害鳥獣の捕獲、地域づくりを推進することで被害の抑制・低減に努めている。
日本型直接支払制度(多面的、中山間、環境保全)に取り組む農地面積を維持します	現状		三つの取組に取り組むことで農業・農村の有する多面的機能の増進が図られている。
全防災重点ため池のハザードマップを作成します	現状		避難場所の事前把握など自然災害に備えるため、ため池決壊の影響を想定したマップを全戸配布し、情報共有を図った。また、令和3年度に国の防災重点ため池の選定に係る考え方が見直され、新基準で再選した結果、98箇所から85箇所に変更となった。

- ※ 重点化 : 関連事業に重きをおく。
- 現状 : 現行の事業運営とする。
- 再検討 : 関連事業の縮小、廃止、又は見直しを検討する。

施策の総合評価

総合評価	施策の抱える課題
B	就農者の高齢化や担い手不足により、農業生産に必要な農地面積の減少が進んでいる。耕作放棄地の増加に伴い有害鳥獣被害が拡大し、生産意欲の低下を招いている。
	今後の施策の運営方針
概ね順調	日本型直接支払制度を活用し農地、農業施設の適正な維持管理に努め、有害鳥獣被害の低減を図り、持続可能な農業を推進する。 新規就農者への支援やIT技術等の導入による農作業の効率化を図り、就農者の確保に努める。

※ A：順調 B：概ね順調 C：一部に努力を要する D：全体的に努力を要する

構成する事務事業の評価

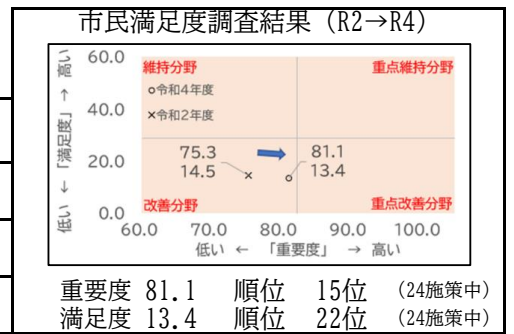
整理番号	重要	事業番号	事務事業名	担当課	本年度 予算額 (千円)	本年度 決算額 (千円)	外部 評価	最終 判断
274	○	2792	農村環境保全向上活動支援事業	農林水産課	59,119	58,507		継続
281		2660	市単独土地改良事業	農林水産課	23,322	20,846		継続
286		5240	農地・農業用施設災害復旧事業	農林水産課	1	0		継続
348	○	2452	農業活性化緊急対策事業	農業振興課	4,325	3,746	○	継続
349		2453	環境保全型農業直接支援事業	農業振興課	2,092	1,998		継続
350	○	2490	鳥獣害防止対策推進事業	農業振興課	37,624	32,917		継続
351		2494	柑橘放任園害虫対策事業	農業振興課	625	517		継続
352	○	2540	中山間地域等直接支払交付金事業	農業振興課	78,027	76,374	○	継続
353		2570	中山農産加工場管理運営事業	農業振興課	1,417	1,146		継続
354		2640	畜産業振興支出負担事務	農業振興課	10,882	10,285		継続
355		2480	果樹振興対策事業	農業振興課	26,114	26,114		継続
361		2448	経営継承・発展等支援事業	農業振興課	2,000	2,000		継続
362		2450	農業振興助成事業	農業振興課	1,082	1,051		継続
364	○	2456	新規就農総合支援事業	農業振興課	26,737	26,716		継続
365		2460	農業振興団体補助事業	農業振興課	2,011	2,011		継続
366		2470	農業女性グループ育成事業	農業振興課	620	620		継続
368		2506	経営所得安定対策直接支払推進事業	農業振興課	2,328	2,214		継続
369		2510	水田農業構造改革対策事業	農業振興課	18,698	12,974		継続
370		2791	グリーンツーリズム対策事業	農業振興課	320	320		継続
371	○	2459	担い手総合支援事業	農業振興課	12,326	11,709		継続
372		2530	農業資材等価格高騰対策支援事業	農業振興課	10,000	3,272		継続

※ 構成する事務事業は、評価対象事業のみを掲載  
 施策の推進に当たり、市が重要と判断した事業に「○」を表示  
 外部評価対象事業に「○」が付いた事業は、令和5年度の行政評価委員会にて審議  
 最終判断は経営者会議で決定した事業の方向性を表示

# 令和4年度 施策評価シート

## 基本情報

基本目標	4 産業振興都市の創造
基本施策	② 持続的な林業・水産業の振興
所管部	産業建設部
所管課・関係課	農林水産課
施策の目標	森林資源の循環利用による森林機能の維持増進と競争に打ち勝つ力強い水産業を推進します



**現状と課題**

※第2次伊予市総合計画後期基本計画 (令和3年3月策定) より転記

【林業】本市の土地面積の約60%を森林が占めており、自然豊かな景観が保たれています。スギやヒノキを主体とした人工林は伐期を迎えています。木材価格の低迷などにより、適切な管理が行われていない森林が増えており、森林整備が遅れているのが現状です。就業者の高齢化が進み、経営の安定化と後継者の確保が求められています。

【漁業】瀬戸内海の西部、伊予灘を漁場とし、タイやしらす、ハモをはじめとする水産資源に恵まれています。地球温暖化が原因とされる海洋環境の変化の影響を受け、近年は漁獲量が減少傾向にあります。漁業就業者数が減少しており、林業と同様経営の安定化と後継者の確保が求められています。

関連するSDGsのゴール	<input type="checkbox"/>	ゴール1 貧困をなくそう	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール10 人や国の不平等をなくそう
	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール2 飢餓をゼロに	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール11 住み続けられるまちづくりを
	<input type="checkbox"/>	ゴール3 すべての人に健康と福祉を	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール12 つくる責任つかう責任
	<input type="checkbox"/>	ゴール4 質の高い教育をみんなに	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール13 気候変動に具体的な対策を
	<input type="checkbox"/>	ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール14 海の豊かさを守ろう
	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール15 陸の豊かさを守ろう
	<input type="checkbox"/>	ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	<input type="checkbox"/>	ゴール16 平和と公正をすべての人に
	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール8 働きがいも経済成長も	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール17 パートナリーシップで目標を達成しよう
	<input type="checkbox"/>	ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう		

## 重要業績評価指標の基準値と本年度の評価

…最終年度目標を達成したもの

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値	下段=実績値、上段=目標値					評価
			R3	R4	R5	R6	R7	
実施年度における森林整備 (間伐) を実施します	ha/年	120	130	75			180	順調
		令和2年度	91	117				
長寿命化計画に基づいた漁港施設等の整備を実施します (累計)	箇所	0	1	1			6	順調
		令和2年度	1	1				
漁協組合員 (正組合員) 数の減少を抑制します	人	153	149	146			140	概ね順調
		令和元年12月31日	148	140				

## 重要業績評価指標の分析

重要業績評価指標 (KPI)	方針	重点化・再検討に当たっての留意事項	本年度の振り返り (成果・課題など)
実施年度における森林整備 (間伐) を実施します	現状		森林施業の集約化や路網整備により低コスト化を図り計画的に整備を推進できた。
長寿命化計画に基づいた漁港施設等の整備を実施します (累計)	現状		機能保全計画に基づき保全工事を実施したが、前回の計画策定から10年を経過することから、令和5~6年度において再調査・機能診断を行い新たな計画を策定する予定である。
漁協組合員 (正組合員) 数の減少を抑制します	重点化	新規就業者に対する支援体制の充実を図り、担い手確保に努める。	組合員数が年々減少しており、特に後継者不足が深刻である。引き続き育成事業等による支援を行っていく必要がある。

※ 重点化 : 関連事業に重きをおく。  
 現状 : 現行の事業運営とする。  
 再検討 : 関連事業の縮小、廃止、又は見直しを検討する。

施策の総合評価

総合評価	施策の抱える課題
B	<p>林業や水産業は従事者の高齢化により、担い手が不足している。 若者が都市部での就職や生活を選び、農業や水産業を継承する意欲が低いこと、体力的な労働の厳しさや収益の不確実性が高いこと等が担い手不足を招く原因となっている。</p>
	今後の施策の運営方針
概ね順調	担い手を確保するためには労働条件の改善、収益性の向上、就業者への技術的財政的支援などが必要となる。

※ A：順調 B：概ね順調 C：一部に努力を要する D：全体的に努力を要する

構成する事務事業の評価

整理番号	重要	事業番号	事務事業名	担当課	本年度 予算額 (千円)	本年度 決算額 (千円)	外部 評価	最終 判断
283		2970	林道管理事業	農林水産課	12,329	12,173	○	継続
287		5241	林業用施設補助災害復旧事業	農林水産課	3,000	3,000		継続
296		2860	林業振興助成事業	農林水産課	33,865	28,920		継続
297		2875	松くい虫枯損木伐倒駆除事業	農林水産課	7,932	7,926		継続
299	○	2901	森林環境整備事業費	農林水産課	61,786	58,726		継続
307		3075	水産物供給基盤機能保全事業	農林水産課	4,510	4,510		継続
308		3072	水産業競争力強化漁港機能増進事業	農林水産課	11,000	10,403		継続

※ 構成する事務事業は、評価対象事業のみを掲載  
 施策の推進に当たり、市が重要と判断した事業に「○」を表示  
 外部評価対象事業に「○」が付いた事業は、令和5年度の行政評価委員会にて審議  
 最終判断は経営者会議で決定した事業の方向性を表示

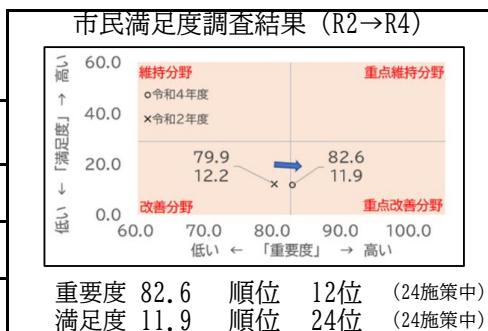
# 令和4年度 施策評価シート

## 基本情報

基本目標	4 産業振興都市の創造
基本施策	③ 活力ある商業・工業の振興
所管部	産業建設部
所管課・関係課	都市整備課、土木管理課、商工観光課
施策の目標	働きたいと思える魅力的なまちを創ります

現状と課題	<p>総務省経済センサスによる本市の産業大分類別に見た従業者数の構成比で見ると、製造業(3,027人)、卸売業・小売業(2,909人)、医療・福祉(1,949人)と続きます。企業単位の売上高の構成比は、製造業が全体の5割以上を占めており、全国平均・県内平均よりも高い数値となっています。市内の小売業の状況を見ると、事業所数、従業員数ともに減少傾向にはありますが、年間商品販売額は近年増加に転じています。</p> <p>一方で個々の店舗や地域商店街では、消費者の購買行動の変化や後継者不足を要因とする事業の縮小、転業、廃業が続いており、かつての賑わいが薄れています。また、企業誘致においては、誘致基盤が乏しい中で苦慮している上、起業、創業も停滞するなど、雇用の創出が喫緊の課題となっています。</p>
-------	---

関連するSDGsのゴール	<input checked="" type="checkbox"/> ゴール1 貧困をなくそう	<input checked="" type="checkbox"/> ゴール10 人や国の不平等をなくそう
	<input type="checkbox"/> ゴール2 飢餓をゼロに	<input checked="" type="checkbox"/> ゴール11 住み続けられるまちづくりを
	<input type="checkbox"/> ゴール3 すべての人に健康と福祉を	<input checked="" type="checkbox"/> ゴール12 つくる責任つかう責任
	<input type="checkbox"/> ゴール4 質の高い教育をみんなに	<input checked="" type="checkbox"/> ゴール13 気候変動に具体的な対策を
	<input type="checkbox"/> ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	<input type="checkbox"/> ゴール14 海の豊かさを守ろう
	<input type="checkbox"/> ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	<input type="checkbox"/> ゴール15 陸の豊かさを守ろう
	<input type="checkbox"/> ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	<input type="checkbox"/> ゴール16 平和と公正をすべての人に
	<input checked="" type="checkbox"/> ゴール8 働きがいも経済成長も	<input checked="" type="checkbox"/> ゴール17 パートナリシップで目標を達成しよう
	<input checked="" type="checkbox"/> ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう	



## 重要業績評価指標の基準値と本年度の評価

…最終年度目標を達成したものの

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値	下段=実績値、上段=目標値					評価
			R3	R4	R5	R6	R7	
新規創業者を増やします (令和3年度から7年度までの累計)	人	9	10	20			50	順調
		令和2年度	22	41				
製造品年間出荷額を増やします	億円	763	770	780			800	順調
		平成30年	767	824				
工業団地内立地企業数を維持します	社	23	23	23			23	順調
		令和2年度	23	23				

## 重要業績評価指標の分析

重要業績評価指標 (KPI)	方針	重点化・再検討に当たっての留意事項	本年度の振り返り (成果・課題など)
新規創業者を増やします (令和3年度から7年度までの累計)	現状		特定創業支援の認定を受けた事業者が、減少傾向にあるため、支援施策の周知を行った。
製造品年間出荷額を増やします	現状		製造品年間出荷額について、上昇傾向にある。
工業団地内立地企業数を維持します	現状		県の主催するイベントに参加するなどして、企業誘致及び企業留置の情報収集を行った。

※ 重点化 : 関連事業に重きをおく。  
 現状 : 現行の事業運営とする。  
 再検討 : 関連事業の縮小、廃止、又は見直しを検討する。

施策の総合評価

総合評価	施策の抱える課題
C	<p>【商業】双海中山地域において、人口減少や事業者の高齢化、後継者不足によって事業の廃業等が増加し、厳しい状況にある。</p> <p>【工業】既存工業団地内は全て誘致が完了しているため、新規の誘致が出来ない状況となっている。</p>
	今後の施策の運営方針
一部に努力を要する	<p>【商業】事業承継や創業起業にかかる相談・支援体制の充実を図る。</p> <p>【工業】企業誘致が可能となるよう、新たな産業系の土地利用について検討を進め、雇用の創出に努める。</p>

※ A：順調 B：概ね順調 C：一部に努力を要する D：全体的に努力を要する

構成する事務事業の評価

整理番号	重要	事業番号	事務事業名	担当課	本年度予算額(千円)	本年度決算額(千円)	外部評価	最終判断
322		9200	(上屋)一般管理事業	土木管理課	12,377	11,293		継続
325	○	3670	港湾施設管理事業	土木管理課	6,906	5,224		継続
375	○	3115	消費者相談事業	商工観光課	2,784	2,459		継続
377		3130	中小企業資金利子補給事業	商工観光課	5,000	1,135		継続
378	○	3150	商工振興助成事業	商工観光課	26,747	26,167		継続
380		3190	企業誘致促進事業	商工観光課	45,653	45,924		継続
392		3340	中心市街地活性化推進事業	商工観光課	2,072	2,037		継続
393		3350	まちづくり推進施設運営事業	商工観光課	8,519	6,946		継続

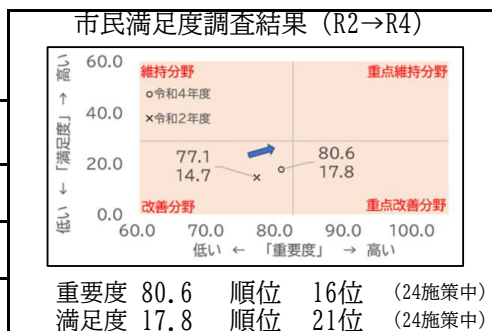
※ 構成する事務事業は、評価対象事業のみを掲載  
 施策の推進に当たり、市が重要と判断した事業に「○」を表示  
 外部評価対象事業に「○」が付いた事業は、令和5年度の行政評価委員会にて審議  
 最終判断は経営者会議で決定した事業の方向性を表示



# 令和4年度 施策評価シート

## 基本情報

基本目標	4 産業振興都市の創造
基本施策	④ 賑わいのある観光の振興
所管部	産業建設部
所管課・関係課	商工観光課
施策の目標	市民と観光客との交流を通じて、まちの魅力と活力を高めます



**現状と課題**

※第2次伊予市総合計画後期基本計画（令和3年3月策定）より転記

これまで、市内各所において、地域の歴史・文化、特色ある特産食材、自然豊かな観光スポット等をテーマとしたイベントを積極的に開催し、誘客・集客に取り組んできました。中でもJR下灘駅は、無人駅でありながら、夕日の撮影スポットとして全国的にも高い知名度を誇り、市内外から幅広い世代の観光客が訪れています。観光に関する新たな取組も見られますが、観光コンテンツが不足していることから、地域内の消費拡大や地域活力の向上につながっていないという側面があり、新たな観光拠点や観光ルートの開発、小規模観光、インバウンドの推進等により、まちの活力を高める必要があります。

**関連するSDGsのゴール**

<input type="checkbox"/>	ゴール1 貧困をなくそう	<input type="checkbox"/>	ゴール10 人や国の不平等をなくそう
<input type="checkbox"/>	ゴール2 飢餓をゼロに	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール11 住み続けられるまちづくりを
<input type="checkbox"/>	ゴール3 すべての人に健康と福祉を	<input type="checkbox"/>	ゴール12 つくる責任つかう責任
<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール4 質の高い教育をみんなに	<input type="checkbox"/>	ゴール13 気候変動に具体的な対策を
<input type="checkbox"/>	ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール14 海の豊かさを守ろう
<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール15 陸の豊かさを守ろう
<input type="checkbox"/>	ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	<input type="checkbox"/>	ゴール16 平和と公正をすべての人に
<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール8 働きがいも経済成長も	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール17 パートナリーシップで目標を達成しよう
<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう		

## 重要業績評価指標の基準値と本年度の評価

…最終年度目標を達成したものの

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値	下段=実績値、上段=目標値					評価
			R3	R4	R5	R6	R7	
道の駅なかやまの観光入込客数を増やします	人/年	136,000	150,000	150,000			150,000	やや遅れ
		令和元年度	143,924	124,884				
道の駅ふたみの観光入込客数を増やします	人/年	250,000	250,000	250,000			350,000	やや遅れ
		令和元年	239,170	218,000				
主要な市営宿泊施設の宿泊者数を増やします	人/年	22,000	20,000	25,000			25,000	順調
		令和元年度	27,277	74,402				
E-バイク貸し出し回数を増やします	回/年	0	100	100			2,000	順調
		令和2年度	83	195				

## 重要業績評価指標の分析

重要業績評価指標 (KPI)	方針	重点化・再検討に当たっての留意事項	本年度の振り返り (成果・課題など)
道の駅なかやまの観光入込客数を増やします	重点化	利用者のニーズに合ったサービスの提供、情報発信に取り組み、満足度の向上を図る。	中山票やそばなど季節に即したメニューを提供できており、市の食文化の魅力発信に寄与できている。交通アクセスに便利な場所に位置していることから、ホスピタリティの向上等によって更なる集客に努める必要がある。
道の駅ふたみの観光入込客数を増やします	現状		昨年はリニューアルオープン直後であり、その反動もあって今年度の入込客数は減少に転じたが、SNSの活用や、イベントを毎週実施することで市産品等の知名度向上に寄与することができている。
主要な市営宿泊施設の宿泊者数を増やします	現状		消費喚起策として、宿泊費の助成を行ったことで、宿泊客が大幅に増加した。呼び込んだ宿泊客の滞在時間を長くする仕組みが必要である。
E-バイク貸し出し回数を増やします	現状		利用者数が上昇傾向にあるため、継続して推進に取り組む。

- ※ 重点化 : 関連事業に重きをおく。
- 現状 : 現行の事業運営とする。
- 再検討 : 関連事業の縮小、廃止、又は見直しを検討する。

施策の総合評価

総合評価	施策の抱える課題
C	観光協会等の関連団体が実施する各種イベントは短期間の集客・消費はあるが、継続した消費拡大となっていない。主要な観光施設においても一定の集客があるが、地域内の消費拡大や活力の向上までには至っていない。
	今後の施策の運営方針
一部に努力を要する	新たに設立された観光物産協会と連携し、道の駅を活用した情報発信や新たな観光資源の発掘等、ニーズを捉えた企画を立案し、消費の拡大、地域活力の向上を図る。

※ A：順調 B：概ね順調 C：一部に努力を要する D：全体的に努力を要する

構成する事務事業の評価

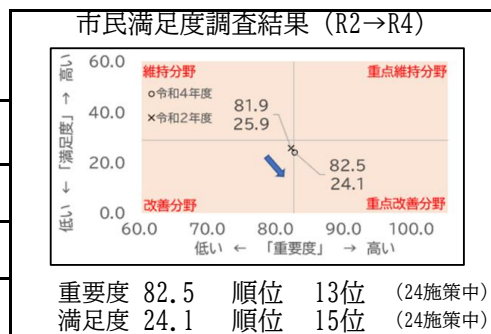
整理番号	重要	事業番号	事務事業名	担当課	本年度 予算額 (千円)	本年度 決算額 (千円)	外部 評価	最終 判断
383		3200	観光イベント事業	商工観光課	12,827	11,260		継続
384	○	3210	観光振興事業	商工観光課	15,619	13,645		継続
385		3220	観光団体助成事業	商工観光課	11,996	11,902		継続
387		3240	彩浜館管理運営事業	商工観光課	6,748	5,816		継続
388		3250	生涯研修センター管理運営事業	商工観光課	9,800	8,599		継続
389		3270	交流促進センター管理運営事業	商工観光課	21,030	19,400		継続
390	○	3290	クラフトの里管理運営事業	商工観光課	11,415	11,368		継続
391	○	3320	ふたみシーサイド公園管理運営事業	商工観光課	14,211	13,755		継続
396		3260	秦皇山施設管理運営事業	商工観光課	8,995	7,443		継続
397		3322	栗の里公園等管理事業	商工観光課	7,503	6,876		継続

※ 構成する事務事業は、評価対象事業のみを掲載  
 施策の推進に当たり、市が重要と判断した事業に「○」を表示  
 外部評価対象事業に「○」が付いた事業は、令和5年度の行政評価委員会にて審議  
 最終判断は経営者会議で決定した事業の方向性を表示

# 令和4年度 施策評価シート

## 基本情報

基本目標	4 産業振興都市の創造
基本施策	⑤ 食と食文化を生かしたまちづくり
所管部	産業建設部、企画振興部
所管課・関係課	商工観光課、地域創生課



施策の目標 食と食文化を通じ、郷土に対する誇りと愛着を育みます

現状と課題  
 ※第2次伊予市総合計画後期基本計画(令和3年3月策定)より転記  
 本市には、豊かな自然に育まれた「食材」と「食文化」という魅力的で大きな可能性を持った地域資源があります。これらの地域資源を有効に活用しながら、伊予市を全国に向け発信することで、知名度の向上及び交流人口の拡大、また地域の活性化を図る事業を実施しています。継続的な事業を進めていますが、ややマンネリ化が見られること、また情報発信力の弱さから市民の認知度も高まらず、本市の知名度の向上、地域の活性化に向けては、新たな手段・手法等の導入検討が求められています。

関連するSDGsのゴール	<input type="checkbox"/>	ゴール1 貧困をなくそう	<input type="checkbox"/>	ゴール10 人や国の不平等をなくそう
	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール2 飢餓をゼロに	<input type="checkbox"/>	ゴール11 住み続けられるまちづくりを
	<input type="checkbox"/>	ゴール3 すべての人に健康と福祉を	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール12 つくる責任つかう責任
	<input type="checkbox"/>	ゴール4 質の高い教育をみんなに	<input type="checkbox"/>	ゴール13 気候変動に具体的な対策を
	<input type="checkbox"/>	ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール14 海の豊かさを守ろう
	<input type="checkbox"/>	ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール15 陸の豊かさを守ろう
	<input type="checkbox"/>	ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	<input type="checkbox"/>	ゴール16 平和と公正をすべての人に
	<input type="checkbox"/>	ゴール8 働きがいも経済成長も	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール17 パートナリシップで目標を達成しよう
	<input type="checkbox"/>	ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう		

## 重要業績評価指標の基準値と本年度の評価

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値	下段=実績値、上段=目標値					評価
			R3	R4	R5	R6	R7	
観光物産協会を設立します	件	0	0	1			1	順調
「ますます、いよし。ブランド認定事業」の認知度を高めます	%	33.9	38.0	38.0			60.0	概ね順調
		令和2年	33.9	37.7				
市・事業者が共同で開発した商品パッケージ数を増やします(累計)	件/年	5	8	9			10	順調
		令和2年度	8	9				

## 重要業績評価指標の分析

重要業績評価指標 (KPI)	方針	重点化・再検討に当たっての留意事項	本年度の振り返り(成果・課題など)
観光物産協会を設立します	現状		一般社団法人伊予市観光物産協会ソレイヨを設立するに当たり、ワーキンググループで協議を進め、法人の軸足が定まり、観光関係のステークホルダーに合意形成を得て法人登記することができた。
「ますます、いよし。ブランド認定事業」の認知度を高めます	重点化	ふるさと納税の返礼品へ採用し、一体的にプロモーションを行うなど、市外に対するアプローチを強化する。	特産品フェアや、ブランド認定品PRオンラインツアーを実施するとともに、関東市人会や、地域おこし協力隊の活動と連携して、首都圏で伊予市産品の営業活動を積極的に行うことで認知度向上に繋がった。
市・事業者が共同で開発した商品パッケージ数を増やします(累計)	現状		ブランド認定品支援事業補助金を活用し、新たに冷凍パッケージを作成したことで、当日限りだった消費期限を90日に伸ばすことができ、商品の全国展開に繋がった。

※ 重点化 : 関連事業に重きをおく。  
 現状 : 現行の事業運営とする。  
 再検討 : 関連事業の縮小、廃止、又は見直しを検討する。

施策の総合評価

総合評価	施策の抱える課題
<b>B</b>	令和4年度市民満足度調査の結果では、ブランド認定品の認知度は39%に留まっている。また、令和元年度の特産品フェアでの市外の者向けアンケート調査では、26%とかなり低く、購買意欲を高め、実際の販売数増加のためにも認知度の向上が今後の課題である。。
	今後の施策の運営方針
概ね順調	ブランド認定品の認知度向上のため、ふるさと納税返礼品への採用やシティプロモーション専用サイトへの掲載、伊予市ファンクラブ会員への個別アプローチなど、様々な手段、媒体を活用し、ブランド認定品の存在をアピールする。

※ A：順調 B：概ね順調 C：一部に努力を要する D：全体的に努力を要する

構成する事務事業の評価

整理番号	重要	事業番号	事務事業名	担当課	本年度 予算額 (千円)	本年度 決算額 (千円)	外部 評価	最終 判断
487	○	491	地域ブランド力強化事業	地域創生課	5,904	4,846	○	継続
488		492	食と食文化のまちづくり事業	地域創生課	1,563	1,374		継続

※ 構成する事務事業は、評価対象事業のみを掲載  
 施策の推進に当たり、市が重要と判断した事業に「○」を表示  
 外部評価対象事業に「○」が付いた事業は、令和5年度の行政評価委員会にて審議  
 最終判断は経営者会議で決定した事業の方向性を表示

# 令和4年度 施策評価シート

## 基本情報

基本目標	5 参画協働推進都市の創造
基本施策	① 市民が主役のまちづくり
所管部	総務部・企画振興部
所管課・関係課	総務課・地域創生課
施策の目標	市民と企業、行政が強くつながり、互いの考えを共有できる環境を目指します 地域住民と移住者が未来に向けて助け合い、幸せな地域づくりを目指します

## 現状と課題

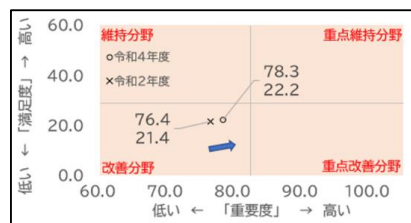
※第2次伊予市総合計画後期基本計画  
(令和3年3月策定)より転記

本市では、自治の基本理念や行政運営における方向性を定めた自治基本条例を制定し、市民自らが考え、共に助け合い、行動する住民自治のまちづくりを進めています。また、それぞれの地域で活動する住民団体と共に、人口減少や学校存続の地域課題の解決に向けた一手法として、移住・定住推進体制を構築し、着実な移住者の受け入れが進んでいます。  
今後も市民の総意が地域・市全体に反映されるまちづくりを推進するため、住民自治組織や災害時の自治体と地域をつなぐ中間支援組織の設立を目指し、市民が主体となり、企業や行政との相互協力のもと、地域の実情に合ったまちづくりを行える環境を構築します。

## 関連するSDGsのゴール

<input type="checkbox"/>	ゴール1 貧困をなくそう	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール10 人や国の不平等をなくそう
<input type="checkbox"/>	ゴール2 飢餓をゼロに	<input type="checkbox"/>	ゴール11 住み続けられるまちづくりを
<input type="checkbox"/>	ゴール3 すべての人に健康と福祉を	<input type="checkbox"/>	ゴール12 つくる責任つかう責任
<input type="checkbox"/>	ゴール4 質の高い教育をみんなに	<input type="checkbox"/>	ゴール13 気候変動に具体的な対策を
<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	<input type="checkbox"/>	ゴール14 海の豊かさを守ろう
<input type="checkbox"/>	ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	<input type="checkbox"/>	ゴール15 陸の豊かさを守ろう
<input type="checkbox"/>	ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール16 平和と公正をすべての人に
<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール8 働きがいも経済成長も	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール17 パートナリシップで目標を達成しよう
<input type="checkbox"/>	ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう		

市民満足度調査結果 (R2→R4)



重要度 78.3 順位 19位 (24施策中)  
満足度 22.2 順位 18位 (24施策中)

## 重要業績評価指標の基準値と本年度の評価

…最終年度目標を達成したものの

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値	下段=実績値、上段=目標値					評価
			R3	R4	R5	R6	R7	
住民自治組織に関する研修会を実施します	回/年	0	1	2			4	概ね順調
市政懇談会を実施します	回/年	未実施	1	1			2	やや遅れ
集会所の改修等の実績を維持します	箇所/年	5	4	8			4	順調
年間移住相談件数(令和3年度~7年度)の平均を目標値とします	件/年	333	300	300			300	概ね順調
年間移住者数(令和3年度~7年度)の平均を目標値とします	人/年	28	30	70			30	概ね順調

## 重要業績評価指標の分析

重要業績評価指標 (KPI)	方針	重点化・再検討に当たっての留意事項	本年度の振り返り(成果・課題など)
住民自治組織に関する研修会を実施します	重点化	人材育成の一環で職員の意識醸成を目的とした研修会の開催を行う。	県職員、地域おこし協力隊も交えて地域づくりをテーマに研修会を開催し、参加者主体のコーディネイトゲームを実施しながら意識醸成を図った。
市政懇談会を実施します	再検討	市政懇談会に代わる事業(サテライト市長室、集会所懇談会)を実施しているため	開催要望がなく、代わる事業で一定の効果が得られていることから制度の見直しを検討する。
集会所の改修等の実績を維持します	現状		要望のあった全事業を実施した。
年間移住相談件数(令和3年度~7年度)の平均を目標値とします	重点化	移住に関連する関係機関と連携し、情報集約することで円滑な窓口運営に努める。	オンライン移住相談が定着するとともに対面相談・現地見学のニーズの増加に対応できた。
年間移住者数(令和3年度~7年度)の平均を目標値とします	重点化	移住体験住宅の整備及び地域の支援体制を構築するなど、移住環境の充実に努める。	体験住宅に適した物件の選定が困難であった。教職員住宅の活用で整備の見通しが立った。

※ 重点化 : 関連事業に重きをおく。  
現状 : 現行の事業運営とする。  
再検討 : 関連事業の縮小、廃止、又は見直しを検討する。

施策の総合評価

総合評価	施策の抱える課題
B	住民自治組織については、平成20年設立の「住民自治されだに」以降、設立が進んでいない。住民主導での組織化がベストであるが、核（リーダー）となる人材が不足していることが課題である。また、行政職員についても、住民自治組織の役割や必要性など基本的事項など理解が進んでいない現状がある。
	今後の施策の運営方針
概ね順調	令和4年度は、まずは職員向けの研修を実施し、今後の担当事業の推進に繋げてもらうよう、制度理解に努めた。令和5年度は、地域住民を主体とした研修を実施し、将来のリーダー候補の育成に努める。

※ A：順調 B：概ね順調 C：一部に努力を要する D：全体的に努力を要する

構成する事務事業の評価

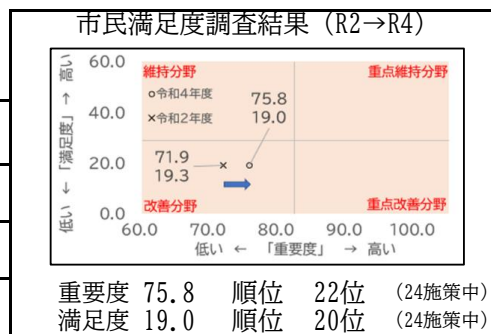
整理番号	重要	事業番号	事務事業名	担当課	本年度 予算額 (千円)	本年度 決算額 (千円)	外部 評価	最終 判断
479	○	576	政策推進事業	地域創生課	3,579	2,959		継続
481	○	232	地域活力創造事業	地域創生課	4,896	3,912		継続
482		233	移住・定住推進事業	地域創生課	9,104	7,307	○	重点化
483		240	参画協働推進事業	地域創生課	4,350	4,350		継続
484	○	513	集会所改修等事業	地域創生課	4,548	4,529		継続
485		255	地域力創造アドバイザー事業	地域創生課	3,091	2,806		継続

※ 構成する事務事業は、評価対象事業のみを掲載  
 施策の推進に当たり、市が重要と判断した事業に「○」を表示  
 外部評価対象事業に「○」が付いた事業は、令和5年度の行政評価委員会にて審議  
 最終判断は経営者会議で決定した事業の方向性を表示

# 令和4年度 施策評価シート

## 基本情報

基本目標	5 参画協働推進都市の創造
基本施策	② 男女共同参画社会の実現
所管部	総務部
所管課・関係課	総務課



施策の目標 地域や職場における意思決定の場への女性参画割合を高めます

現状と課題  
※第2次伊予市総合計画後期基本計画(令和3年3月策定)より転記  
 人々の価値観やライフスタイルが多様化する中、男女が対等な立場で、社会のあらゆる分野に参画し、責任を分かち合う社会の実現が重要となっています。本市は伊予市男女共同参画基本計画に基づき、様々な施策を実行しています。今後も女性リーダーの充実のため、女性の人材育成とポジティブ・アクションに関する周知、啓発を並行して行う必要があります。

関連するSDGsのゴール

<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール1 貧困をなくそう	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール10 人や国の不平等をなくそう
<input type="checkbox"/>	ゴール2 飢餓をゼロに	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール11 住み続けられるまちづくりを
<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール3 すべての人に健康と福祉を	<input type="checkbox"/>	ゴール12 つくる責任つかう責任
<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール4 質の高い教育をみんなに	<input type="checkbox"/>	ゴール13 気候変動に具体的な対策を
<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	<input type="checkbox"/>	ゴール14 海の豊かさを守ろう
<input type="checkbox"/>	ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	<input type="checkbox"/>	ゴール15 陸の豊かさを守ろう
<input type="checkbox"/>	ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール16 平和と公正をすべての人に
<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール8 働きがいも経済成長も	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール17 パートナリシップで目標を達成しよう
<input type="checkbox"/>	ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう		

## 重要業績評価指標の基準値と本年度の評価 …最終年度目標を達成したもの

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値	下段=実績値、上段=目標値					評価
			R3	R4	R5	R6	R7	
市の管理職(課長級以上)における女性割合を増やします	%	11.0	11.0	15.0			30.0	概ね順調
		令和2年度	6.9	13.3				
市の審議会等における女性割合を増やします	%	23.0	25.0	25.0			35.0	概ね順調
		令和2年度	24.7	24.9				
男女共同参画に関する研修会を実施します	回/年	2	2	2			4	やや遅れ
		令和2年度	1	1				
男女共同参画ネットワーク加入団体を増やします(累計)	団体	6	7	9			10	概ね順調
		令和2年度	9	9				

## 重要業績評価指標の分析

重要業績評価指標 (KPI)	方針	重点化・再検討に当たっての留意事項	本年度の振り返り(成果・課題など)
市の管理職(課長級以上)における女性割合を増やします	重点化	キャリアアップを見据えた人事異動に努める。	女性も当たり前管理職を目指すという職員の意識改革を含め、長期的な視野で女性管理職割合を増やすよう努めたい。
市の審議会等における女性割合を増やします	現状		各会の担当部署がそれぞれ女性委員の割合を増やすよう努めており、継続した取組が必要である。
男女共同参画に関する研修会を実施します	再検討	男性が参加する研修会を企画する。	今年度は、カジダンをテーマとした研修会を実施し、男女が共に働きやすい社会を目指す意識付けを今後も継続する必要がある。
男女共同参画ネットワーク加入団体を増やします(累計)	現状		今後も継続して、加入案内等を実施する。

※ 重点化 : 関連事業に重きをおく。  
 現状 : 現行の事業運営とする。  
 再検討 : 関連事業の縮小、廃止、又は見直しを検討する。

施策の総合評価

総合評価	施策の抱える課題
C	市の審議会等に興味を持っている女性はいると思うが、手を挙げやすい（参画意思を表明しやすい）環境が十分に整っていない現状がある。
	今後の施策の運営方針
一部に努力を要する	愛媛県では新しいひめボス事業所の認定制度をスタートさせた。この取組への参加を（市内事業所に）呼びかけ、事業所として男女が共に働きやすく、働き甲斐のある職場を目指す。

※ A：順調 B：概ね順調 C：一部に努力を要する D：全体的に努力を要する

構成する事務事業の評価

整理番号	重要	事業番号	事務事業名	担当課	本年度予算額(千円)	本年度決算額(千円)	外部評価	最終判断
11	○	250	女性政策事業	総務課	275	143	○	重点化

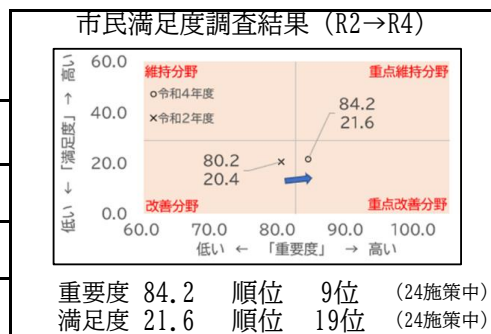
※ 構成する事務事業は、評価対象事業のみを掲載  
 施策の推進に当たり、市が重要と判断した事業に「○」を表示  
 外部評価対象事業に「○」が付いた事業は、令和5年度の行政評価委員会にて審議  
 最終判断は経営者会議で決定した事業の方向性を表示



# 令和4年度 施策評価シート

## 基本情報

基本目標	5 参画協働推進都市の創造
基本施策	③ 効率的で透明性の高い行財政運営
所管部	総務部
所管課・関係課	総務課、財政課、税務課、双海地域事務所、中山地域事務所、企画政策課、地域創生課、会計課、議会事務局、監査委員事務局
施策の目標	様々な情報通信技術を活用した情報提供により、市民と行政の相互理解を高め、協働を加速します



**現状と課題**

※第2次伊予市総合計画後期基本計画(令和3年3月策定)より転記

市では、事務事業評価を継続して実施しており、各事務事業の事業内容や費用負担について公開しています。また地方財政の状況がさらに厳しさを増す中、持続可能な財政基盤を確立するため、施設使用料や補助金の見直しを進めています。今後も積極的な情報公開により、透明性を高めると共に、分かりやすい説明が必要になっています。また多くの公共施設が老朽化を迎える中、住民の多様なニーズに応えつつも、複数の施設の統合や機能の複合化などの整理が必要となっています。携帯機器を始めとする技術的革新が進む中、市の公式ホームページの内容や公開方法を見直し、市民参画の機会を増やす必要があります。

関連するSDGsのゴール

<input type="checkbox"/>	ゴール1 貧困をなくそう	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール10 人や国の不平等をなくそう
<input type="checkbox"/>	ゴール2 飢餓をゼロに	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール11 住み続けられるまちづくりを
<input type="checkbox"/>	ゴール3 すべての人に健康と福祉を	<input type="checkbox"/>	ゴール12 つくる責任つかう責任
<input type="checkbox"/>	ゴール4 質の高い教育をみんなに	<input type="checkbox"/>	ゴール13 気候変動に具体的な対策を
<input type="checkbox"/>	ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	<input type="checkbox"/>	ゴール14 海の豊かさを守ろう
<input type="checkbox"/>	ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	<input type="checkbox"/>	ゴール15 陸の豊かさを守ろう
<input type="checkbox"/>	ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール16 平和と公正をすべての人に
<input type="checkbox"/>	ゴール8 働きがいも経済成長も	<input checked="" type="checkbox"/>	ゴール17 パートナリシップで目標を達成しよう
<input type="checkbox"/>	ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう		

## 重要業績評価指標の基準値と本年度の評価

…最終年度目標を達成したものの

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値	下段=実績値、上段=目標値					評価
			R3	R4	R5	R6	R7	
公式ホームページで定期的に行財政情報を公表し、透明性を高めます	種類	8	8	8			8	順調
ふるさと納税の寄附額を増やします	万円/年	4,571	4,600	8,000			4,800	順調
公共施設の複合化、機能の集約化等を推進します	件/年	1	1	1			1	順調
「将来負担比率」の縮減を図ります	-	64.1	64.0	64.0			64.0以下	順調

## 重要業績評価指標の分析

重要業績評価指標 (KPI)	方針	重点化・再検討に当たっての留意事項	本年度の振り返り (成果・課題など)
公式ホームページで定期的に行財政情報を公表し、透明性を高めます	現状		適切な行財政運営を行っていくため、財政状況について分かりやすく公表を行った。
ふるさと納税の寄附額を増やします	重点化	収入増加に向け、ポータルサイトの拡充に加え、返礼品の更なる確保に努める。	ポータルサイトを1件から5件に、返礼品を64品から205品に増やし、寄附額の増加につなげた。
公共施設の複合化、機能の集約化等を推進します	再検討	既存施設への機能の集約化、利用者ニーズの変化に対応した施設の在り方について検討する。	中山地域の教員住宅1棟を移住体験住宅として活用するため、関係課との協議・調整を行った。今後も遊休市有施設の利活用について、先進事例の研究を進める必要がある。
「将来負担比率」の縮減を図ります	重点化	地方債の発行を抑制するなど、公債費の適正管理に努める。	地方債残高の低減を図るため新規市債発行額を元金償還額以下に抑制するよう取り組んだ。

※ 重点化 : 関連事業に重きをおく。  
現状 : 現行の事業運営とする。  
再検討 : 関連事業の縮小、廃止、又は見直しを検討する。

## 施策の総合評価

総合評価	A	<b>施策の抱える課題</b> ふるさと納税については、令和3年度と比較し、令和4年度倍額以上の実績となり、これまでの取組みの成果が出た結果といえる。ふるさと納税額の更なる増額のためには、ポータルサイトの掲載数や返礼品のラインナップの充実に加え、市内事業者の参入に向けた意識醸成が必要である。 公共施設の管理については、施設の長寿命化に多額な予算が必要となるため、真に必要なものかどうか見極め、その手法等についても検討を行う必要がある。
順調		<b>今後の施策の運営方針</b> 引き続き、制度周知に努めるとともに、ふるさと納税参入事業者の掘り起こしを行うとともに、特産品を活用した新たな商品の開発など更に広い視点でセクションを超えた連携強化に努めること。 また、今後の人口減少を視野に入れた公共施設の在り方について、先進地視察も含めた調査・研究を進めること。

※ A：順調 B：概ね順調 C：一部に努力を要する D：全体的に努力を要する

## 構成する事務事業の評価

整理番号	重要	事業番号	事務事業名	担当課	本年度 予算額 (千円)	本年度 決算額 (千円)	外部 評価	最終 判断
2		100	広報区長会事業	総務課	19,898	19,587	○	継続
3		110	広報紙発行事業	総務課	13,293	11,418		継続
8	○	50	職員研修事業	総務課	1,009	520		重点化
9		60	職員福利厚生事業	総務課	6,078	4,409		継続
34	○	621	市税徴収事務	税務課	8,683	7,673		継続
67	○	280	双海地域事務所管理事業	双海地域事務所	29,539	27,189		継続
68	○	270	中山地域事務所管理事業	中山地域事務所	10,689	10,199		継続
465	○	201	総合計画等推進事業	企画政策課	1,442	1,359		継続
466		370	電子計算処理運営事業	企画政策課	81,615	80,576		継続
475	○	575-1	行政評価運用事業	企画政策課	1,223	1,015		重点化
486		251	ふるさと納税事業	地域創生課	44,254	41,038		継続
557	○	140	出納事務	会計課	15,706	14,571		継続
558	○	10	議会運営事業	議会事務局	120,946	116,731		継続
564		690	選挙啓発事業	監査委員事務局	205	111		継続

※ 構成する事務事業は、評価対象事業のみを掲載  
 施策の推進に当たり、市が重要と判断した事業に「○」を表示  
 外部評価対象事業に「○」が付いた事業は、令和5年度の行政評価委員会にて審議  
 最終判断は経営者会議で決定した事業の方向性を表示